

### 3 質問紙調査をもとにした個人投資家の社会的責任投資に対する意識の分析

#### 質問紙調査の概要

調査方法：WEBサイトを用いたオンライン調査

調査対象：調査会社に登録するパネルのうち「投資に興味を持つ者」として登録している者からランダムサンプリング

実施期間：2002年12月12日～2003年1月31日

回答を呼びかけた人数：日本10,000人、米国15,000人、英国15,000人

有効回答者数：日本1,670人、米国309人、英国306人

#### 3.1 質問紙調査の単純集計結果

##### 3.1.1 日本

Q1あなたは、株式・債券・投資信託などの証券投資を行い、資産を運用していますか。

資産運用経験は、「行った経験はない」が最も多く50.5%、次いで「現在行っている」が38.0%、3番目に「以前行っていたが現在は行っていない」で11.5%という結果になった。

カテゴリー名	回答数	%
現在行っている	634	38.0
以前行っていたが現在は行っていない	192	11.5
行った経験はない	844	50.5
無回答	0	0.0
全体	1670	100.0

Q2(Q1で「現在行っている」、「以前行っていたが現在は行っていない」を選択した方に) 次のうち、実際に投資しているものはどれですか。(複数回答)

実際に投資しているものは、「国内株式」が78.2%と最も多く、次いで「国内投信(国内)」が37.2%、3番目に「外国投信(海外)」で13.2%という結果である。

カテゴリー名	回答数	%
国内株式	646	78.2
国内投信(国内)	307	37.2
外国投信(海外)	109	13.2
国内債券	95	11.5
外国債券	74	9.0
外国株式	51	6.2
その他	17	2.1
無回答	30	3.6
全体	826	100.0

Q3 証券投資について、あなたが日頃感じていることは何ですか。(複数回答)

証券投資について感じることで、最も多いのは「証券投資に関する知識が不足している」で72.9%、次いで「証券価格の下落により損失が発生する」が63.0%、3番目は「まとまったお金がないと購入できない」で56.7%である。

カテゴリー名	回答数	%
証券投資に関する知識が不足している	1217	72.9
証券価格の下落により損失が発生する	1052	63.0
まとまったお金がないと購入できない	947	56.7
個人投資家には情報が不十分、不利	724	43.4
売買の為の手数料や信託報酬が高い	659	39.5
企業に関する情報が十分に公表されていない	553	33.1
投資判断を行うのが面倒だ	471	28.2
株主の利益を重視した経営を行っていない	450	26.9
取扱い金融機関の信頼性に疑問がある	344	20.6
証券投資では配当金・利息等が小さい	326	19.5
企業に関する情報が多すぎる	62	3.7
その他	41	2.5
無回答	0	0.0
全体	1670	100.0

Q4 企業の社会的責任(企業のあり方、社会に対して誠実に取り組んでいるかどうか)について関心がありますか。

企業の社会的責任についての関心は、「ある程度関心がある」が最も多く50.4%、次いで「とても関心がある」が34.4%であり、これら二つのカテゴリーを合計した企業の社会的責任に関心がある層は、全体の約85%である。

カテゴリー名	回答数	%
とても関心がある	575	34.4
ある程度関心がある	841	50.4
あまり関心がない	180	10.8
関心がまったくない	19	1.1
わからない	55	3.3
無回答	0	0.0
全体	1670	100.0

Q5 次の選択肢のうち、企業が誠実に取り組んでいるかどうか、関心がある領域は何ですか。(複数回答)

企業の取組に関心がある領域では、「製品等における顧客の健康・安全性配慮」(71.7%)、「環境問題への対応」(71.6%)の二つがともに7割を超えている。次いで関心が高いのは、「消費者保護への配慮」で61.9%、さらに「汚職の防止・政治献金の適正化」が54.9%と、全体の5割を超えている。

カテゴリー名	回答数	%
製品等における顧客の健康・安全性配慮	1197	71.7
環境問題への対応	1195	71.6
消費者保護への配慮	1034	61.9
汚職の防止・政治献金の適正化	916	54.9
労使関係・従業員の権利等への配慮	710	42.5
安定した雇用の確保	706	42.3
従業員の健康・安全	706	42.3
差別・機会均等への配慮	547	32.8
コミュニティへの貢献	304	18.2
児童労働・強制労働の回避	303	18.1
その他	32	1.9
無回答	0	0.0
全体	1670	100.0

Q 6 ( Q 5 で「環境問題への対応」を選択した方に ) 特に関心のある問題は何ですか。(複数回答)

特に関心のある環境問題は、全般的に関心が高く、全 8 項目中 3 項目が 7 割を超えている。最も高いのは「廃棄物対策 ( リサイクルなど )」( 83.9% )、次いで「地球温暖化」( 77.5% )、3 番目に「大気環境 ( 大気汚染など )」( 75.3% ) である。

カテゴリー名	回答数	%
廃棄物対策 ( リサイクルなど )	1003	83.9
地球温暖化	926	77.5
大気環境 ( 大気汚染など )	900	75.3
化学物質対策 ( 環境ホルモンなど )	807	67.5
水環境 ( 水資源の確保など )	746	62.4
自然保護	718	60.1
土壌環境 ( 土壌汚染、地盤沈下など )	673	56.3
その他	17	1.4
無回答	9	0.8
全体	1195	100.0

Q 7 あなたは証券投資をするときに企業の社会的責任を考慮に入れて投資判断を行うべきだとお考えですか。

証券投資の際の企業の社会的責任の考慮は、「ある程度考慮に入れるべきだ」が最も多く 55.1%、次いで「考慮に入れるべきだと思う」が 34.0% で、考慮に入れるべきという肯定的意見は、全体の約 9 割を占める。

カテゴリー名	回答数	%
考慮に入れるべきだと思う	567	34.0
ある程度考慮に入れるべきだ	921	55.1
考慮に入れなくてよい	182	10.9
無回答	0	0.0
全体	1670	100.0

Q 8 ( Q 7 で「考慮に入れるべきだと思う」「ある程度考慮に入れるべきだ」と答えた方に ) 考慮に入れるべきだとお考えになる領域はどのようなものですか。(複数回答)

考慮に入れるべき領域は、「環境問題への対応」( 70.4% )、「製品等における顧客の健康・安全性配慮」( 68.1% ) の二つが 7 割近い。次いで「消費者保護への配慮」が 60.3%、「汚職の防止・政治献金の適正化」が 51.0% で続き、全体の 5 割を超えている。

カテゴリー名	回答数	%
環境問題への対応	1047	70.4
製品等における顧客の健康・安全性配慮	1014	68.1
消費者保護への配慮	897	60.3
汚職の防止・政治献金の適正化	759	51.0
安定した雇用の確保	452	30.4
従業員の健康・安全	447	30.0
労使関係・従業員の権利等への配慮	408	27.4
差別・機会均等への配慮	366	24.6
コミュニティへの貢献	243	16.3
児童労働・強制労働の回避	221	14.9
その他	13	0.9
無回答	48	3.2
全体	1488	100.0

Q 9 ( Q 8 で「環境問題への対応」を選択した方に ) 特に考慮したいと思う企業の環境対策は次のうちのどれですか。(複数回答)

特に考慮したい企業の環境対策は、8 項目中 7 項目が 5 割を超えている。特に高いのは「廃棄物対策( リサイクルなど )」( 81.9% )、次いで「地球温暖化」( 70.3% )、「大気環境( 大気汚染など )」( 69.8% ) が続く。

カテゴリー名	回答数	%
廃棄物対策（リサイクルなど）	858	81.9
地球温暖化	736	70.3
大気環境（大気汚染など）	731	69.8
化学物質対策（環境ホルモンなど）	660	63.0
水環境（水資源の確保など）	597	57.0
自然保護	547	52.2
土壌環境（土壌汚染、地盤沈下など）	541	51.7
その他	7	0.7
無回答	9	0.9
全体	1047	100.0

Q10 エコファンド、または社会的責任投資ファンドをご存知ですか。

エコファンド、社会的責任投資ファンドの認知度は、「まったく知らない」が65.4%と、最も高い。次いで「すこし知っている」が30.9%、「よく知っている」が3.7%と、現段階では認知度は低いといえよう。

カテゴリー名	回答数	%
よく知っている	61	3.7
すこし知っている	516	30.9
まったく知らない	1093	65.4
無回答	0	0.0
全体	1670	100.0

Q11（Q10で「よく知っている」、「すこし知っている」と答えた方に）エコファンドや社会的責任投資ファンドの購入にどの程度関心がありますか。

エコファンド等への関心度は、「購入していないが関心はある」が最も高く75.7%、「既に入っている」(1.2%)と合わせると76.9%となり、関心の高さがうかがえる。

カテゴリー名	回答数	%
既に入っている	7	1.2
購入していないが関心はある	437	75.7
購入していないし関心もない	125	21.7
無回答	8	1.4
全体	577	100.0

Q12（Q11で「購入していないし関心もない」と答えた方に）その理由は何ですか。（複数回答）

エコファンドや社会的責任投資ファンドを購入していないし関心もない理由としては、「商品内容がよくわからないから」(56.8%)が最も多く、次いで「他の商品と比べ、収益を期待できない」(25.6%)、「環境保全等対応促進につながらない」(23.2%)と続く。

カテゴリー名	回答数	%
商品内容がよくわからないから	71	56.8
他の商品と比べ、収益を期待できない	32	25.6
環境保全等対応促進につながらない	29	23.2
ファンドのスクリーニングの信頼性が低いから	22	17.6
他の商品と比べ、リスクが高い	16	12.8
他の商品と比べ、組み入れ銘柄が変わらない	16	12.8
その他	6	4.8
無回答	2	1.6
全体	125	100.0

Q13 (Q11で「既に購入している」、「購入していないが関心はある」と答えた方に) その理由は何ですか。(複数回答)

エコファンドや社会的責任投資ファンドを購入している、あるいは購入していないが関心はあるとした理由で最も多いのは、「環境保全等の企業の社会的責任への対応を促進できる」で67.1%である。次に「投資行動にも価値観を反映させたい」が48.2%、3番目に「他の商品と比べ、収益性を期待できる」で18.2%という結果である。

カテゴリー名	回答数	%
環境保全等の企業の社会的責任への対応を促進できる	298	67.1
投資行動にも価値観を反映させたい	214	48.2
他の商品と比べ、収益性を期待できる	81	18.2
他の商品と比べ、リスクが低い	67	15.1
その他	12	2.7
無回答	5	1.1
全体	444	100.0

Q14 (Q13で「投資行動を通じて、環境保全等の企業の社会的責任への対応を促進できると思うから」と答えた方に) そうした投資行動と収益との関係をどのように考えますか。

「投資行動を通じて、環境保全等の企業の社会的責任対応を促進できる」と考える際、その投資行動と収益との関係は、「収益をある程度犠牲にしてもよい」が最も多く61.7%、「収益を犠牲にしてもよい」(3.4%)と合わせた犠牲にしてもよい層は65.1%になる。「収益を犠牲にすることは好まない」は33.6%である。

カテゴリー名	回答数	%
収益を犠牲にしてもよい	10	3.4
収益をある程度犠牲にしてもよい	184	61.7
収益を犠牲にすることは好まない	100	33.6
無回答	4	1.3
全体	298	100.0

Q15 (Q11で「既に購入している」、「購入していないが関心はある」と答えた方に) どのような観点で企業を選んでいるファンドに興味がありますか。(複数回答)

どのような観点からファンドに興味を持っているかを見ると、「環境に配慮した商品・サービスを開発している」(84.2%)が最も多く、次いで「リサイクルや省エネルギーに熱心に取り組んでいる」(79.7%)、「法令・規則を守っている」(51.6%)と続く。

カテゴリー名	回答数	%
環境に配慮した商品・サービスを開発している	374	84.2
リサイクルや省エネルギーに熱心に取り組んでいる	354	79.7
法令・規則を守っている	229	51.6
地域貢献に熱心である	167	37.6
兵器や武器に関連する事業をしていない	143	32.2
障害者の雇用・昇進に配慮している	104	23.4
児童労働・強制労働を行わせていない	85	19.1
女性の雇用・昇進に配慮している	84	18.9
タバコに関連する事業をしていない	63	14.2
商品開発で動物実験をしていない	55	12.4
その他	8	1.8
無回答	11	2.5
全体	444	100.0

Q16 (Q11で「既に購入している」、「購入していないが関心はある」と答えた方に) 投資をしようと考えている投資金額のどの程度の割合までをエコファンド、社会的責任投資ファンドに投資してもよいと考えますか。

エコファンドや社会的責任投資ファンドに対する投資割合の上限は、概ね上限が高いカテゴリーほど割合が低くなる傾向が見られる。「2割まで」が59.9%を占め、最も多い。

カテゴリー名	回答数	%
2割まで	266	59.9
4割まで	126	28.4
6割まで	33	7.4
8割まで	5	1.1
全額	6	1.4
無回答	8	1.8
全体	444	100.0

Q17 (Q11で「既に購入している」、「購入していないが関心はある」と答えた方に) 社会的責任投資ファンドに改善すべきだと感じる点があれば、それはどのようなことですか。(複数回答)

エコファンド、社会的責任投資ファンドの改善すべき点としては、「ファンドについての情報が不足している」が最も多く、67.1%である。次いで「運用内容がわかりにくい」が49.1%、「知名度不足」が43.9%と続く。

カテゴリー名	回答数	%
ファンドについての情報が不足している	298	67.1
運用内容がわかりにくい	218	49.1
知名度不足	195	43.9
他の金融商品との区別がつきにくい	175	39.4
どこで手に入れてよいか分かりにくい	174	39.2
収益性が期待できないというイメージがある	130	29.3
購入単位が高額だ	98	22.1
投資アドバイザーの理解不足	60	13.5
ファンドについての情報が過剰である	5	1.1
その他	11	2.5
無回答	9	2.0
全体	444	100.0

Q18 (Q11で「既に購入している」と答えた方に) エコファンド、社会的責任投資ファンドについてどのように知りましたか。(複数回答)

エコファンド、社会的責任投資ファンドを知った媒体としては、「投資関係の新聞や雑誌」が57.1%と最も多く、次に「投資アドバイザーからの情報」と「インターネット」が同率で42.9%である。



カテゴリー名	回答数	%
投資関係の新聞や雑誌	4	57.1
投資アドバイザーからの情報	3	42.9
インターネット	3	42.9
一般の新聞や雑誌	1	14.3
NPOなどの市民団体からの情報	1	14.3
友人・知人からの情報	1	14.3
証券会社や業界団体のセミナーや講座	0	0.0
その他	0	0.0
無回答	0	0.0
全体	7	100.0

### 3.1.2 米国

Q1 あなたは、株式・債券・投資信託などの証券投資を行い、資産を運用していますか。

資産運用経験は、「現在行っている」が最も多く43.1%である。次いで「行った経験はない」41.7%、3番目に「以前行っていたが現在は行っていない」で15.2%と続く。

カテゴリー名	回答数	%
現在行っている	133	43.1
以前行っていたが現在は行っていない	47	15.2
行った経験はない	129	41.7
無回答	0	0.0
全体	309	100.0

Q2 (Q1で「現在行っている」、「以前行っていたが現在は行っていない」を選択した方に) 次のうち、実際に投資しているものはどれですか。(複数回答)

実際に投資しているものは、「国内株式」が67.8%と最も多い。次いで「国内投信(国内)」が61.1%、3番目に「国内債券」で26.7%という結果である。

カテゴリー名	回答数	%
国内株式	122	67.8
国内投信(国内)	110	61.1
国内債券	48	26.7
外国株式	39	21.7
外国投信(海外)	24	13.3
外国債券	6	3.3
その他	8	4.4
無回答	11	6.1
全体	180	100.0

Q3 証券投資について、あなたが日頃感じていることは何ですか。(複数回答)

証券投資について感じることで、最も多いのは「証券投資に関する知識が不足している」で45.0%、次いで「証券価格の下落により損失が発生する」が40.1%、3番目は「まとまったお金がないと購入できない」で36.2%である。

カテゴリー名	回答数	%
証券投資に関する知識が不足している	139	45.0
証券価格の下落により損失が発生する	124	40.1
まとまったお金がないと購入できない	112	36.2
株主の利益を重視した経営を行っていない	75	24.3
個人投資家には情報が不十分、不利	74	23.9
企業に関する情報が十分に公表されていない	74	23.9
売買の為の手数料や信託報酬が高い	70	22.7
取扱い金融機関の信頼性に疑問がある	63	20.4
企業に関する情報が多すぎる	50	16.2
証券投資では配当金・利息等が小さい	38	12.3
投資判断を行うのが面倒だ	35	11.3
その他	14	4.5
無回答	0	0.0
全体	309	100.0

Q4 企業の社会的責任(企業のあり方、社会に対して誠実に取り組んでいるかどうか)について関心がありますか。

企業の社会的責任についての関心は、「とても関心がある」が最も多く45.0%、次いで「ある程度関心がある」が35.3%である。これら二つのカテゴリーを合計した企業の社会的責任に関心がある層は、全体の80.3%を占める。

カテゴリー名	回答数	%
とても関心がある	139	45.0
ある程度関心がある	109	35.3
あまり関心がない	23	7.4
関心がまったくない	20	6.5
わからない	18	5.8
無回答	0	0.0
全体	309	100.0

Q5 次の選択肢のうち、企業が誠実に取り組んでいるかどうか、関心がある領域は何ですか。(複数回答)

企業の取組に関心がある領域は、全般的に各項目とも関心が高く、「その他」を除くとすべて5割以上の指摘がある。最も高いのは「従業員の健康・安全」(73.8%)である。次いで「安定した雇用の確保」(73.1%)、「汚職の防止・政治献金の適正化」(70.2%)が上位3項目である。

カテゴリー名	回答数	%
従業員の健康・安全	228	73.8
安定した雇用の確保	226	73.1
汚職の防止・政治献金の適正化	217	70.2
環境問題への対応	213	68.9
児童労働・強制労働の回避	209	67.6
労使関係・従業員の権利等への配慮	205	66.3
差別・機会均等への配慮	202	65.4
消費者保護への配慮	200	64.7
製品等における顧客の健康・安全性配慮	180	58.3
コミュニティへの貢献	172	55.7
その他	10	3.2
無回答	0	0.0
全体	309	100.0

Q 6 ( Q 5 で「環境問題への対応」を選択した方に ) 特に関心のある問題は何ですか。(複数回答)

特に関心のある環境問題は、全般的に関心が高く、全 8 項目中 4 項目が 8 割を超えている。最も高いのは「大気環境 ( 大気汚染など )」( 88.3% ) である。次いで「水環境 ( 水資源の確保など )」( 85.0% )、「化学物質対策 ( 環境ホルモンなど )」( 84.0% ) である。

カテゴリー名	回答数	%
大気環境 ( 大気汚染など )	188	88.3
水環境 ( 水資源の確保など )	181	85.0
化学物質対策 ( 環境ホルモンなど )	179	84.0
廃棄物対策 ( リサイクルなど )	172	80.8
自然保護	155	72.8
土壌環境 ( 土壌汚染、地盤沈下など )	152	71.4
地球温暖化	122	57.3
その他	4	1.9
無回答	3	1.4
全体	213	100.0

Q 7 あなたは証券投資をするときに企業の社会的責任を考慮に入れて投資判断を行うべきだとお考えですか。

証券投資の際の企業の社会的責任の考慮は、「考慮に入れるべきだと思う」が最も多く 54.0%、次いで「ある程度考慮に入れるべきだ」が 37.9%で、考慮に入れるべきという肯定的意見は 9 割を超える。

カテゴリー名	回答数	%
考慮に入れるべきだと思う	167	54.0
ある程度考慮に入れるべきだ	117	37.9
考慮に入れなくてよい	25	8.1
無回答	0	0.0
全体	309	100.0

Q8 (Q7で「考慮に入れるべきだと思う」「ある程度考慮に入れるべきだ」と答えた方に) 考慮に入れるべきだとお考えになる領域はどのようなものですか。(複数回答)

考慮に入れるべき領域は、最も多いのは「汚職の防止・政治献金の適正化」(61.6%)である。次いで「安定した雇用の確保」(54.9%)、「環境問題への対応」(54.2%)と続く。

カテゴリー名	回答数	%
汚職の防止・政治献金の適正化	175	61.6
安定した雇用の確保	156	54.9
環境問題への対応	154	54.2
児童労働・強制労働の回避	154	54.2
従業員の健康・安全	153	53.9
消費者保護への配慮	152	53.5
労使関係・従業員の権利等への配慮	146	51.4
製品等における顧客の健康・安全性配慮	128	45.1
コミュニティへの貢献	121	42.6
差別・機会均等への配慮	120	42.3
その他	5	1.8
無回答	40	14.1
全体	284	100.0

Q9 (Q8で「環境問題への対応」を選択した方に) 特に考慮したいと思う企業の環境対策は次のうちのどれですか。(複数回答)

特に考慮したい企業の環境対策で、最も高いのは「化学物質対策(環境ホルモンなど)」(85.7%)である。次いで「大気環境(大気汚染など)」(82.5%)、「水環境(水資源の確保など)」(81.8%)と続く。これらは8割を超えている。

カテゴリー名	回答数	%
化学物質対策（環境ホルモンなど）	132	85.7
大気環境（大気汚染など）	127	82.5
水環境（水資源の確保など）	126	81.8
廃棄物対策（リサイクルなど）	121	78.6
土壌環境（土壌汚染、地盤沈下など）	105	68.2
自然保護	101	65.6
地球温暖化	84	54.5
その他	1	0.6
無回答	3	1.9
全体	154	100.0

Q10 エコファンド、または社会的責任投資ファンドをご存知ですか。

エコファンド、社会的責任投資ファンドの認知度は、「まったく知らない」が67.7%と最も高い。次いで「すこし知っている」が26.5%、「よく知っている」が5.8%と、現段階では認知度は約3割にとどまっている。

カテゴリー名	回答数	%
よく知っている	18	5.8
すこし知っている	82	26.5
まったく知らない	209	67.7
無回答	0	0.0
全体	309	100.0

Q11（Q10で「よく知っている」、「すこし知っている」と答えた方に）エコファンドや社会的責任投資ファンドの購入にどの程度関心がありますか。

エコファンド等への関心度は、「購入していないが関心はある」が57.0%、「既に購入している」（12.0%）と合わせると69.0%となり、関心の高さがうかがえる。

カテゴリー名	回答数	%
既に購入している	12	12.0
購入していないが関心はある	57	57.0
購入していないし関心もない	24	24.0
無回答	7	7.0
全体	100	100.0

Q12（Q11で「購入していないし関心もない」と答えた方に）その理由は何ですか。（複数回答）

エコファンドや社会的責任投資ファンドを購入していないし関心もない理由と

しては、「商品内容がよくわからないから」(37.5%)が最も多い。無回答を除くと、次いで多いのは「他の商品と比べ、収益を期待できない」(29.2%)、「他の商品と比べ、リスクが高い」「他の商品と比べ、組み入れ銘柄が変わらない」が20.8%と同率で続く。

カテゴリー名	回答数	%
商品内容がよくわからないから	9	37.5
他の商品と比べ、収益を期待できない	7	29.2
他の商品と比べ、リスクが高い	5	20.8
他の商品と比べ、組み入れ銘柄が変わらない	5	20.8
ファンドのスクリーニングの信頼性が低いから	4	16.7
環境保全等対応促進につながらない	3	12.5
その他	0	0.0
無回答	7	29.2
全体	24	100.0

Q13 (Q11で「既に購入している」、「購入していないが関心はある」と答えた方に) その理由は何ですか。

エコファンドや社会的責任投資ファンドを購入している、あるいは購入していないが関心はあるとした理由で最も多いのは、「投資行動にも価値観を反映させたい」の58.0%である。次いで「環境保全等の企業の社会的責任への対応を促進できる」(49.3%)、「他の商品と比べ、収益性を期待できる」(29.0%)と続く。

カテゴリー名	回答数	%
投資行動にも価値観を反映させたい	40	58.0
環境保全等の企業の社会的責任への対応を促進できる	34	49.3
他の商品と比べ、収益性を期待できる	20	29.0
他の商品と比べ、リスクが低い	19	27.5
その他	3	4.3
無回答	1	1.4
全体	69	100.0

Q14 (Q13で「投資行動を通じて、環境保全等の企業の社会的責任への対応を促進できると思うから」と答えた方に) そうした投資行動と収益との関係をどのように考えますか。

「投資行動を通じて、環境保全等の企業の社会的責任対応を促進できる」と考える際、その投資行動と収益との関係は、「収益をある程度犠牲にしてもよい」が最も多く73.6%である。「収益を犠牲にしてもよい」(8.8%)と合わせた収益を犠牲にしてもよいと考える層は82.4%に達する。

カテゴリー名	回答数	%
収益を犠牲にしてもよい	3	8.8
収益をある程度犠牲にしてもよい	25	73.6
収益を犠牲にすることは好まない	6	17.6
無回答	0	0.0
全体	34	100.0

Q15 (Q11で「既に購入している」、「購入していないが関心はある」と答えた方に) どのような観点で企業を選んでいるファンドに興味がありますか。(複数回答)

どのような観点からファンドに興味を持っているかを見ると、「環境に配慮した商品・サービスを開発している」(63.8%)が最も多い。次いで「リサイクルや省エネルギーに熱心に取り組んでいる」(60.9%)、「児童労働・強制労働を行わせていない」(58.0%)、「地域貢献に熱心である」(55.1%)と続く。これらは5割を超える指摘である。

カテゴリー名	回答数	%
環境に配慮した商品・サービスを開発している	44	63.8
リサイクルや省エネルギーに熱心に取り組んでいる	42	60.9
児童労働・強制労働を行わせていない	40	58.0
地域貢献に熱心である	38	55.1
女性の雇用・昇進に配慮している	29	42.0
障害者の雇用・昇進に配慮している	29	42.0
兵器や武器に関連する事業をしていない	27	39.1
法令・規則を守っている	25	36.2
タバコに関連する事業をしていない	24	34.8
商品開発で動物実験をしていない	23	33.3
その他	0	0.0
無回答	2	2.9
全体	69	100.0

Q16 (Q11で「既に購入している」、「購入していないが関心はある」と答えた方に) 投資をしようと考えている投資金額のどの程度の割合までをエコファンド、社会的責任投資ファンドに投資してもよいと考えますか。

エコファンドや社会的責任投資ファンドに対する投資割合の上限は、概ね上限が高いカテゴリーほど割合が低くなる傾向が見られる。「2割まで」が40.7%を占め、最も多い。

カテゴリー名	回答数	%
2割まで	28	40.7
4割まで	26	37.7
6割まで	9	13.0
8割まで	1	1.4
全額	3	4.3
無回答	2	2.9
全体	69	100.0

Q17 (Q11で「既に購入している」、「購入していないが関心はある」と答えた方に) 社会的責任投資ファンドに改善すべきだと感じる点があれば、それはどのようなことですか。(複数回答)

エコファンド、社会的責任投資ファンドの改善すべき点としては、「ファンドについての情報が不足している」が最も多く 59.4%である。次いで「どこで手に入れてよいか分かりにくい」が 56.5%、「収益性が期待できないというイメージがある」が 36.2%、「知名度不足」が 34.8%と続く。

カテゴリー名	回答数	%
ファンドについての情報が不足している	41	59.4
どこで手に入れてよいか分かりにくい	39	56.5
収益性が期待できないというイメージがある	25	36.2
知名度不足	24	34.8
購入単位が高額だ	20	29.0
運用内容がわかりにくい	19	27.5
投資アドバイザーの理解不足	18	26.1
他の金融商品との区別がつきにくい	11	15.9
ファンドについての情報が過剰である	3	4.3
その他	0	0.0
無回答	3	4.3
全体	69	100.0

Q18 (Q11で「既に購入している」と答えた方に) エコファンド、社会的責任投資ファンドについてどのように知りましたか。(複数回答)

エコファンド、社会的責任投資ファンドを知った媒体としては、「投資関係の新聞や雑誌」が 50.0%と最も多い。次いで「投資アドバイザーからの情報」と「インターネット」が同率で 41.7%である。これらが4割を超える指摘がある、主な内容である。



カテゴリー名	回答数	%
投資関係の新聞や雑誌	6	50.0
投資アドバイザーからの情報	5	41.7
インターネット	5	41.7
一般の新聞や雑誌	3	25.0
友人・知人からの情報	3	25.0
証券会社や業界団体のセミナーや講座	1	8.3
NPOなどの市民団体からの情報	1	8.3
その他	3	25.0
無回答	0	0.0
全体	12	100.0

### 3.1.3 英国

Q1 あなたは、株式・債券・投資信託などの証券投資を行い、資産を運用していますか。

資産運用の有無は、「行った経験がない」が最も多く 52.5% である。次いで「現在行っている」(28.8%)、「以前行っていたが現在は行っていない」(18.0%) と続く。

カテゴリー名	回答数	%
現在行っている	88	28.8
以前行っていたが現在は行っていない	55	18.0
行った経験はない	161	52.5
無回答	2	0.7
全体	306	100.0

Q2 (Q1で「現在行っている」、「以前行っていたが現在は行っていない」を選択した方に) 次のうち、実際に投資しているものはどれですか。(複数回答)

実際に投資しているものとして最も多いのは、「国内株式」(61.5%) である。次いで「国内投信(国内)」(40.6%)、「外国株式」(21.7%) と続く。

カテゴリー名	回答数	%
国内株式	88	61.5
国内投信(国内)	58	40.6
外国株式	31	21.7
外国投信(海外)	22	15.4
国内債券	12	8.4
外国債券	5	3.5
その他	6	4.2
無回答	12	8.4
全体	143	100.0

Q3 証券投資について、あなたが日頃感じていることは何ですか。(複数回答)

証券投資について感じていることの内容は、「まとまったお金がないと購入できない」(50.3%)、「証券投資に関する知識が不足している」(46.1%)、「証

券価格の下落により損失が発生する」(44.8%)である。

カテゴリー名	回答数	%
まとまったお金がないと購入できない	154	50.3
証券投資に関する知識が不足している	141	46.1
証券価格の下落により損失が発生する	137	44.8
個人投資家には情報が不十分、不利	100	32.7
企業に関する情報が十分に公表されていない	85	27.8
売買の為の手数料や信託報酬が高い	77	25.2
取扱い金融機関の信頼性に疑問がある	67	21.9
株主の利益を重視した経営を行っていない	64	20.9
投資判断を行うのが面倒だ	42	13.7
企業に関する情報が多すぎる	42	13.7
証券投資では配当金・利息等が小さい	37	12.1
その他	6	2.0
無回答	0	0.0
全体	306	100.0

Q4 企業の社会的責任（企業のあり方、社会に対して誠実に取り組んでいるかどうか）について関心がありますか。

企業の社会的責任についての関心度は、「ある程度関心がある」が最も多く41.2%を占める。次いで「とても関心がある」(26.1%)である。これら二つのカテゴリーを合計した企業の社会的責任に関心がある層は67.3%である。

カテゴリー名	回答数	%
とても関心がある	80	26.1
ある程度関心がある	126	41.2
あまり関心がない	45	14.7
関心がまったくない	28	9.2
わからない	27	8.8
無回答	0	0.0
全体	306	100.0

Q5 次の選択肢のうち、企業が誠実に取り組んでいるかどうか、関心がある領域は何ですか。（複数回答）

企業の取組に関心がある領域は、最も高いのが「環境問題への対応」(75.5%)である。次いで「従業員の健康・安全」(72.2%)、「児童労働・強制労働の回避」(71.2%)、「汚職の防止・政治献金の適正化」(70.9%)である。これらが7割以上の指摘があるものである。

カテゴリー名	回答数	%
環境問題への対応	231	75.5
従業員の健康・安全	221	72.2
児童労働・強制労働の回避	218	71.2
汚職の防止・政治献金の適正化	217	70.9
消費者保護への配慮	199	65.0
差別・機会均等への配慮	197	64.4
労使関係・従業員の権利等への配慮	191	62.4
安定した雇用の確保	183	59.8
製品等における顧客の健康・安全性配慮	176	57.5
コミュニティへの貢献	159	52.0
その他	9	2.9
無回答	0	0.0
全体	306	100.0

Q 6 ( Q 5 で「環境問題への対応」を選択した方に ) 特に関心のある問題は何ですか。(複数回答)

特に関心のある環境問題は全般的に関心が高く、全 8 項目中 6 項目が 7 割を超えている。最も高いのは、「廃棄物対策 ( リサイクルなど )」( 82.7% ) である。次いで「化学物質対策 ( 環境ホルモンなど )」( 81.8% )、「大気環境 ( 大気汚染など )」( 80.1% ) と続く。

カテゴリー名	回答数	%
廃棄物対策 ( リサイクルなど )	191	82.7
化学物質対策 ( 環境ホルモンなど )	189	81.8
大気環境 ( 大気汚染など )	185	80.1
地球温暖化	165	71.4
自然保護	164	71.0
水環境 ( 水資源の確保など )	163	70.6
土壌環境 ( 土壌汚染、地盤沈下など )	125	54.1
その他	6	2.6
無回答	5	2.2
全体	231	100.0

Q 7 あなたは証券投資をするときに企業の社会的責任を考慮に入れて投資判断を行うべきだとお考えですか。

証券投資の際に企業の社会的責任については、「考慮に入れるべきだと思う」( 46.7% ) が最も多い。次いで「ある程度考慮に入れるべきだ」( 37.6% )、「考慮に入れなくて良い」( 15.7% ) と続く。考慮に入れることを肯定する意見は 84.3% と、圧倒的多数を占める。

カテゴリー名	回答数	%
考慮に入れるべきだと思う	143	46.7
ある程度考慮に入れるべきだ	115	37.6
考慮に入れなくてよい	48	15.7
無回答	0	0.0
全体	306	100.0

Q8 (Q7で「考慮に入れるべきだと思う」「ある程度考慮に入れるべきだ」と答えた方に) 考慮に入れるべきだとお考えになる領域はどのようなものですか。(複数回答)

考慮に入れるべき領域として最も多いのは、「環境問題への対応」(62.8%)である。次いで「汚職の防止・政治献金の適正化」(58.1%)、「児童労働・強制労働の回避」(57.8%)、「従業員の健康・安全」(53.5%)が5割以上の指摘がある主な内容である。

カテゴリー名	回答数	%
環境問題への対応	162	62.8
汚職の防止・政治献金の適正化	150	58.1
児童労働・強制労働の回避	149	57.8
従業員の健康・安全	138	53.5
消費者保護への配慮	118	45.7
製品等における顧客の健康・安全性配慮	112	43.4
労使関係・従業員の権利等への配慮	110	42.6
差別・機会均等への配慮	100	38.8
安定した雇用の確保	96	37.2
コミュニティへの貢献	88	34.1
その他	9	3.5
無回答	37	14.3
全体	258	100.0

Q9 (Q8で「環境問題への対応」を選択した方に) 特に考慮したいと思う企業の環境対策は次のうちのどれですか。

特に考慮したい企業の環境対策として最も高いのは、「化学物質対策(環境ホルモンなど)」(88.3%)である。次いで「廃棄物対策(リサイクルなど)」(84.0%)、「大気環境(大気汚染など)」(81.5%)が、8割を超える主な内容である。

カテゴリー名	回答数	%
化学物質対策（環境ホルモンなど）	143	88.3
廃棄物対策（リサイクルなど）	136	84.0
大気環境（大気汚染など）	132	81.5
地球温暖化	120	74.1
水環境（水資源の確保など）	117	72.2
自然保護	112	69.1
土壌環境（土壌汚染、地盤沈下など）	97	59.9
その他	3	1.9
無回答	2	1.2
全体	162	100.0

Q10 エコファンド、または社会的責任投資ファンドをご存知ですか。

エコファンド、または社会的責任投資ファンドの認知度は、「まったく知らない」が62.5%と最も高い。次いで「すこし知っている」(34.6%)、「よく知っている」(2.9%)と続く。現段階では認知度は低いといえよう。

カテゴリー名	回答数	%
よく知っている	9	2.9
すこし知っている	106	34.6
まったく知らない	191	62.5
無回答	0	0.0
全体	306	100.0

Q11（Q10で「よく知っている」、「すこし知っている」と答えた方に）エコファンドや社会的責任投資ファンドの購入にどの程度関心がありますか。

エコファンド、または社会的責任投資ファンドへの関心度は、「購入していないが関心はある」が60.8%と最も高く、「既に購入している」(6.1%)のカテゴリーを合わせると66.9%となり、関心度は高い。

カテゴリー名	回答数	%
既に購入している	7	6.1
購入していないが関心はある	70	60.8
購入していないし関心もない	34	29.6
無回答	4	3.5
全体	115	100.0

Q12（Q11で「購入していないし関心もない」と答えた方に）その理由は何ですか。（複数回答）

エコファンドや社会的責任投資ファンドを購入したことがなく、関心もないと

回答した理由としては、「他の商品と比べ、収益を期待できない」が 38.2%と最も高い。次いで「商品内容がよくわからないから」「環境保全等対応促進につながらない」「ファンドのスクリーニングの信頼性が低いから」が 20.6%で続く。

カテゴリー名	回答数	%
他の商品と比べ、収益を期待できない	13	38.2
商品内容がよくわからないから	7	20.6
環境保全等対応促進につながらない	7	20.6
ファンドのスクリーニングの信頼性が低いから	7	20.6
他の商品と比べ、組み入れ銘柄が変わらない	6	17.6
他の商品と比べ、リスクが高い	3	8.8
その他	4	11.8
無回答	6	17.6
全体	34	100.0

Q13 (Q11で「既に購入している」、「購入していないが関心はある」と答えた方に) その理由は何ですか。

エコファンドや社会的責任投資ファンドを既に購入したことがある、あるいは購入していないが関心があると回答した理由としては、「投資行動にも価値観を反映させたい」が 61.0%で最も高い。次いで「環境保全等の企業の社会的責任への対応を促進できる」(42.9%)、「他の商品と比べ、収益性を期待できる」(24.7%)と続く。

カテゴリー名	回答数	%
投資行動にも価値観を反映させたい	47	61.0
環境保全等の企業の社会的責任への対応を促進できる	33	42.9
他の商品と比べ、収益性を期待できる	19	24.7
他の商品と比べ、リスクが低い	10	13.0
その他	4	5.2
無回答	3	3.9
全体	77	100.0

Q14 (Q13で「投資行動を通じて、環境保全等の企業の社会的責任への対応を促進できると思うから」と答えた方に) そうした投資行動と収益との関係をどのように考えますか。

「投資行動を通じて、環境保全等の企業の社会的責任対応を促進する」ことについて、その投資行動と収益との関係は、「収益をある程度犠牲にしてもよい」(75.8%)が圧倒的多数を占める。

カテゴリー名	回答数	%
収益を犠牲にしてもよい	4	12.1
収益をある程度犠牲にしてもよい	25	75.8
収益を犠牲にすることは好まない	3	9.1
無回答	1	3.0
全体	33	100.0

Q15 (Q11で「既に購入している」、「購入していないが関心はある」と答えた方に) どのような観点で企業を選んでいるファンドに興味がありますか。(複数回答)

どのような観点からファンドに興味を持っているかを見ると、最も多いのは「児童労働・強制労働を行わせていない」(77.9%)である。次いで「環境に配慮した商品・サービスを開発している」(71.4%)、「リサイクルや省エネルギーに熱心に取り組んでいる」(70.1%)が7割以上の指摘がある主な内容である。

カテゴリー名	回答数	%
児童労働・強制労働を行わせていない	60	77.9
環境に配慮した商品・サービスを開発している	55	71.4
リサイクルや省エネルギーに熱心に取り組んでいる	54	70.1
兵器や武器に関連する事業をしていない	46	59.7
商品開発で動物実験をしていない	42	54.5
地域貢献に熱心である	35	45.5
タバコに関連する事業をしていない	30	39.0
女性の雇用・昇進に配慮している	24	31.2
障害者の雇用・昇進に配慮している	24	31.2
法令・規則を守っている	20	26.0
その他	2	2.6
無回答	1	1.3
全体	77	100.0

Q16 (Q11で「既に購入している」、「購入していないが関心はある」と答えた方に) 投資をしようと考えている投資金額のどの程度の割合までをエコファンド、社会的責任投資ファンドに投資してもよいと考えますか。

エコファンドや社会的責任投資ファンドに対する投資割合の上限は、概ね上限が高いカテゴリーほど、その割合は低くなる傾向が見られる。「2割まで」は33.7%を占め、最も多い。

カテゴリー名	回答数	%
2割まで	26	33.7
4割まで	20	26.0
6割まで	15	19.5
8割まで	2	2.6
全額	13	16.9
無回答	1	1.3
全体	77	100.0

Q17 (Q11で「既に購入している」、「購入していないが関心はある」と答えた方に) 社会的責任投資ファンドに改善すべきだと感じる点があれば、それはどのようなことですか。(複数回答)

エコファンドや社会的責任投資ファンドの改善すべき点としては、「ファンドについての情報が不足している」が最も多く 58.4%である。次いで「どこで手に入れてよいか分かりにくい」(49.4%)、「収益性が期待できないというイメージがある」(39.0%)、「購入単位が高額だ」(37.7%)が続く。

カテゴリー名	回答数	%
ファンドについての情報が不足している	45	58.4
どこで手に入れてよいか分かりにくい	38	49.4
収益性が期待できないというイメージがある	30	39.0
購入単位が高額だ	29	37.7
投資アドバイザーの理解不足	21	27.3
知名度不足	20	26.0
運用内容がわかりにくい	16	20.8
他の金融商品との区別がつきにくい	15	19.5
ファンドについての情報が過剰である	2	2.6
その他	3	3.9
無回答	1	1.3
全体	77	100.0

Q18 (Q11で「既に購入している」と答えた方に) エコファンド、社会的責任投資ファンドについてどのように知りましたか。(複数回答)

エコファンドや社会的責任投資ファンドを知るようになった媒体として最も多いのは、「投資アドバイザーからの情報」(71.4%)である。次いで「一般の新聞や雑誌」「インターネット」が28.6%と同率で続く。これらが主な認知媒体である。

カテゴリー名	回答数	%
投資アドバイザーからの情報	5	71.4
一般の新聞や雑誌	2	28.6
インターネット	2	28.6
友人・知人からの情報	1	14.3
投資関係の新聞や雑誌	0	0.0
証券会社や業界団体のセミナーや講座	0	0.0
NPOなどの市民団体からの情報	0	0.0
その他	0	0.0
無回答	0	0.0
全体	7	100.0



### 3.2 質問紙調査の3か国比較

#### Q4 企業の社会的責任（企業のあり方、社会に対して誠実に取り組んでいるかどうか）について関心がありますか。

この設問からは、関心の程度が3か国で差があることが明らかになった。最も関心が高いのは米国で45.0%が「とても関心がある」としている。反対に、最も関心が低いのが英国で「とても関心がある」とする回答は26.1%に過ぎず、「関心がまったくない」とする回答の割合は9.2%である。今回の調査では、我が国の関心の高さは米国と英国の間に位置するという結果になった。このことは、各々の国の「投資に興味を持つ」という人々において、我が国だけが「企業の社会的責任に対する関心」が低いというわけではないことを表していると考えられる。

		合計	Q4.企業の社会的責任についての関心					無回答
			と が あ る 関 心	あ る 程 度 関 心 が あ る	あ ま り 関 心 が な い	関 心 が ま た く な い	わ か ら な い	
単位：上段 件数、下段 %								
全体		2285	794	1076	248	67	100	0
		100.0	34.7	47.1	10.9	2.9	4.4	0.0
地 域	日本	1670	575	841	180	19	55	0
		100.0	34.4	50.4	10.8	1.1	3.3	0.0
	米国	309	139	109	23	20	18	0
		100.0	45.0	35.3	7.4	6.5	5.8	0.0
	英国	306	80	126	45	28	27	0
		100.0	26.1	41.2	14.7	9.2	8.8	0.0

#### Q5 次の選択肢のうち、企業が誠実に取り組んでいるかどうか、関心がある領域は何ですか。

この設問では、企業の取組で関心がある領域の範囲が、我が国と米英の間で、相当異なっていることが明らかになった。「環境問題への対応」、「消費者保護への配慮」というのは3か国に共通で、関心も高い領域である。また、「汚職の防止・政治献金の適正化」というのも3か国に共通で、比較的関心も高い領域である。一方、「安定した雇用の確保」、「労使関係・従業員の権利等への配慮」、「従業員の健康・安全」、「差別・機会均等の配慮」、「児童労働・強制労働の回避」、「コミュニティへの貢献」については、米英で関心が高いのに対して、我が国では関心が低い。このことは、人々の関心がある領域が、我が国では米英に比べて相対的に集中していることを示している。

		合計	Q5.企業の取組に関心がある領域											
			環境問題への対応	安定した雇用の確保	労使関係・従業員の権利等への配慮	従業員の健康・安全	差別・機会均等への配慮	児童労働・強制労働の回避	汚職の防止・政治献金の適正化	製品の健康・安全性配慮	消費者保護への配慮	コミュニティへの貢献	その他	無回答
単位：上段 件数、下段 %														
全体		2285	1639	1115	1106	1155	946	730	1247	1631	1390	703	51	0
		100.0	71.7	48.8	48.4	50.5	41.4	31.9	54.6	71.4	60.8	30.8	2.2	0.0
地域	日本	1670	1195	706	710	706	547	303	916	1197	1034	304	32	0
		100.0	71.6	42.3	42.5	42.3	32.8	18.1	54.9	71.7	61.9	18.2	1.9	0.0
	米国	309	213	226	205	228	202	209	172	217	180	200	10	0
		100.0	68.9	73.1	66.3	73.8	65.4	67.6	70.2	58.3	64.7	55.7	3.2	0.0
	英国	306	231	183	191	221	197	218	159	217	176	199	9	0
		100.0	75.5	59.8	62.4	72.2	64.4	71.2	70.9	57.5	65.0	52.0	2.9	0.0

Q6（Q5で「環境問題への対応」を選択した方に）特に関心のある問題は何ですか。

この設問では、環境問題の項目別に3か国の関心の高さに若干の相違があることが明らかになった。3か国ともに、どの項目にも関心が高い（50%以下の回答となった項目はない）ということがいえるが、我が国が米英をともに上回ったのは、「地球温暖化」と「廃棄物対策」であり、反対に我が国が米英をともに下回ったのは、「大気環境」、「水環境」、「化学物質対策」、「自然保護」である。また、米国においては、他の2国に比べて「地球温暖化」への関心が相対的に低く、「土壌環境」への関心が相対的に高い。

		合計	Q6.特に関心のある環境問題								その他	無回答
			地球温暖化	大気環境（大気汚染など）	水環境（水資源の確保など）	土壌環境（土壌汚染、地盤沈下など）	廃棄物対策（リサイクルなど）	化学物質対策（環境ホルモンなど）	自然保護			
単位：上段 件数、下段 %												
全体		1639	1213	1273	1090	950	1366	1175	1037	27	17	
		100.0	74.0	77.7	66.5	58.0	83.3	71.7	63.3	1.6	1.0	
地域	日本	1195	926	900	746	673	1003	807	718	17	9	
		100.0	77.5	75.3	62.4	56.3	83.9	67.5	60.1	1.4	0.8	
	米国	213	122	188	181	152	172	179	155	4	3	
		100.0	57.3	88.3	85.0	71.4	80.8	84.0	72.8	1.9	1.4	
	英国	231	165	185	163	125	191	189	164	6	5	
		100.0	71.4	80.1	70.6	54.1	82.7	81.8	71.0	2.6	2.2	

Q7 あなたは証券投資をするときに企業の社会的責任を考慮に入れて投資判断を行うべきだとお考えですか。

この設問からは、「企業の社会的責任を考慮に入れて投資判断を行うべき」と考える割合が3か国で若干の相違があることが明らかになった。「考慮に入れるべきだと思う」は米国の54.0%、英国の46.7%、日本34.0%の順である。ただし、英国では「考慮に入れなくて良い」が15.7%と3か国で最大となっており、どちらかといえば両極に分かれた意見が存在しているといえる。Q4では「企業の社会的責任」に対して我が国の関心が必ずしも低くなかったが、ここでも「考慮に入れるべきだと思う」、「ある程度考慮に入れるべきだ」をあわせて肯定的意見と集約すれば、我が国は米国と英国の間に位置することになり、我が国だけが「企業の社会的責任を考慮に入れて投資判断を行うべき」とする考えが少数であるとする結論には至っていない。

		合計	Q7.証券投資の際の企業の社会的責任の考慮			
			べ考 き慮 だに と入 思れ うる	に あ 入 れ 程 度 べ 考 慮	考 慮 てに よ い れ な	無 回 答
単位:上段 件数、下段 %						
全体		2285 100.0	877 38.4	1153 50.4	255 11.2	0 0.0
地 域	日本	1670 100.0	567 34.0	921 55.1	182 10.9	0 0.0
	米国	309 100.0	167 54.0	117 37.9	25 8.1	0 0.0
	英国	306 100.0	143 46.7	115 37.6	48 15.7	0 0.0

Q8 (Q7で「考慮に入れるべきだと思う」「ある程度考慮に入れるべきだ」と答えた方に) 考慮に入れるべきだとお考えになる領域はどのようなものですか。

この設問の回答は、Q5の結果と同様であり、関心がある領域の範囲が、我が国では米英に比べて相対的に狭いという結果になっている。

	合計	Q8.考慮に入れるべき領域												
		環境問題への対応	安定した雇用の確保	労使関係・従業員の権利等への配慮	従業員の健康・安全	差別・機会均等への配慮	児童労働・強制労働の回避	汚職の防止・政治献金の適正化	製品の健康・安全性配慮	消費者保護への配慮	コミュニティへの貢献	その他	無回答	
単位：上段 件数、下段 %														
全体	2030	1363	704	664	738	586	524	968	1339	1137	513	27	125	
	100.0	67.1	34.7	32.7	36.4	28.9	25.8	47.7	66.0	56.0	25.3	1.3	6.2	
地域	日本	1488	1047	452	408	447	366	221	759	1014	897	243	13	48
		100.0	70.4	30.4	27.4	30.0	24.6	14.9	51.0	68.1	60.3	16.3	0.9	3.2
	米国	284	154	156	146	153	120	154	121	175	128	152	5	40
		100.0	54.2	54.9	51.4	53.9	42.3	54.2	61.6	45.1	53.5	42.6	1.8	14.1
	英国	258	162	96	110	138	100	149	88	150	112	118	9	37
		100.0	62.8	37.2	42.6	53.5	38.8	57.8	58.1	43.4	45.7	34.1	3.5	14.3

Q9（Q8で「環境問題への対応」を選択した方に）特に考慮したいと思う企業の環境対策は次のうちのどれですか。

この設問の回答も、Q6の結果とほぼ同様であり、どの項目にも概して関心は高いが、我が国が米英をとともに下回ったのは、「大気環境」、「水環境」、「土壌環境」、「化学物質対策」、「自然保護」、また米国において他の2国に比べて「地球温暖化」への関心が相対的に低いという結果となった。

	合計	Q9.特に考慮したい企業の環境対策									
		地球温暖化	大気環境（大気汚染など）	水環境（水資源の確保など）	土壌環境（土壌汚染、地盤沈下など）	廃棄物対策（リサイクルなど）	化学物質対策（環境ホルモンなど）	自然保護	その他	無回答	
単位：上段 件数、下段 %											
全体	1363	940	990	840	743	1115	935	760	11	14	
	100.0	69.0	72.6	61.6	54.5	81.8	68.6	55.8	0.8	1.0	
地域	日本	1047	736	731	597	541	858	660	547	7	9
		100.0	70.3	69.8	57.0	51.7	81.9	63.0	52.2	0.7	0.9
	米国	154	84	127	126	105	121	132	101	1	3
		100.0	54.5	82.5	81.8	68.2	78.6	85.7	65.6	0.6	1.9
	英国	162	120	132	117	97	136	143	112	3	2
		100.0	74.1	81.5	72.2	59.9	84.0	88.3	69.1	1.9	1.2

Q10 エコファンド、または社会的責任投資ファンドをご存知ですか。

この設問の回答からは、エコファンド、または社会的責任投資ファンドの認知度は高くないことが明らかになったが、同時に日米英の3か国において、その認知度に必ずしも大きな格差があるわけではないことも明らかになった。およそ3

分の2の人が、「まったく知らない」と回答しているが、これは3か国で概ね同様の傾向である。

単位：上段 件数、下段 %		合計	Q10.エコファンド、社会的責任投資ファンドの認知			
			よく知っている	すこし知っている	まったく知らない	無回答
全体		2285	88	704	1493	0
		100.0	3.9	30.8	65.3	0.0
地域	日本	1670	61	516	1093	0
		100.0	3.7	30.9	65.4	0.0
	米国	309	18	82	209	0
		100.0	5.8	26.5	67.7	0.0
	英国	306	9	106	191	0
		100.0	2.9	34.6	62.5	0.0

Q11 (Q10で「よく知っている」、「すこし知っている」と答えた方に) エコファンドや社会的責任投資ファンドの購入にどの程度関心がありますか。

この設問からは、「既に購入している」と「購入していないが関心はある」を合わせた肯定的意見が、3か国でともに60%を超えている点が明らかになった。「既に購入している」と「購入していないが関心はある」を合わせた肯定的意見で見ると日本、米国、英国の順に多い結果となる。ただし、「既に購入している」だけで見ると米国が12.0%で最大であり、英国が6.1%でこれに続き、我が国は1.2%に過ぎない。これらのことから、我が国だけが「エコファンド、または社会的責任投資ファンドへの関心度」が低いとする結論は当たらない。ただし、実際に「エコファンド、または社会的責任投資ファンドを購入している」という行動は、我が国は米英に比べてまだ少ないというのは事実であろう。

単位：上段 件数、下段 %		合計	Q11.エコファンド等への関心度			
			既に購入している	購入に関心はない	購入に関心もない	無回答
全体		792	26	564	183	19
		100.0	3.3	71.2	23.1	2.4
地域	日本	577	7	437	125	8
		100.0	1.2	75.7	21.7	1.4
	米国	100	12	57	24	7
		100.0	12.0	57.0	24.0	7.0
	英国	115	7	70	34	4
		100.0	6.1	60.8	29.6	3.5

Q12 (Q11で「購入していないし関心もない」と答えた方に) その理由は何ですか。

この設問からは、「エコファンド、または社会的責任投資ファンドに否定的な意見」の根拠が明らかになった。注目すべきは、我が国において「商品内容がよくわからないから」という意見が50%を超えている点である。Q11において我が国でも「エコファンド、または社会的責任投資ファンドへの関心度」が低いわけではないとの結論が導かれたが、さらに「購入していないし関心もない」と答えた人でも商品自体の評価から導かれる積極的な否定よりむしろ「商品内容がよくわからないから」という消極的な否定を行っていることが示されている。

		合計	Q12購入していないし関心もない理由							
			商品内容がよくわからないから	環境保全等対応促進につながらない	他の商品と比べ、収益を期待できない	他の商品と比べ、リスクが高い	他の商品と比べ、組み合わせが変わらない	ファンドのスクリーニングの信頼性が低いから	その他	無回答
		単位:上段 件数、下段 %								
全体		183	87	39	52	24	27	33	10	15
		100.0	47.5	21.3	28.4	13.1	14.8	18.0	5.5	8.2
地域	日本	125	71	29	32	16	16	22	6	2
		100.0	56.8	23.2	25.6	12.8	12.8	17.6	4.8	1.6
	米国	24	9	3	7	5	5	4	0	7
		100.0	37.5	12.5	29.2	20.8	20.8	16.7	0.0	29.2
	英国	34	7	7	13	3	6	7	4	6
		100.0	20.6	20.6	38.2	8.8	17.6	20.6	11.8	17.6

Q13 (Q11で「既に購入している」、「購入していないが関心はある」と答えた方に) その理由は何ですか。

この設問からは、エコファンドや社会的責任投資ファンドの選好理由が明らかになった。米英では、「投資行動にも価値観を反映させたい」、「環境保全等の企業の社会的責任への対応を促進できる」の順に選考理由が多いのに対して、我が国では「環境保全等の企業の社会的責任への対応を促進できる」、「投資行動にも価値観を反映させたい」の順になっている点が興味深い。すなわち、米英の選考理由が「そうした金融商品が自分に合っている」という個人的かつ直接的な効用に依拠しているのに対して、我が国の選考理由は「そうした金融商品が社会的な意義を持つ」という社会機能的かつ間接的な効用に依拠している傾向がある。このことは、我が国のエコファンドや社会的責任投資ファンドにおいて、明確なネガ

ティブスクリーニングの手法がほとんど採用されていないこととも関連を持つものである。

		合計	Q13.購入している、関心がある理由					その他	無回答
			環境保全等の社会的責任への対応を促進できる	他の商品と比べ、収益性を期待できる	他の商品と比べ、リスクが低い	投資行動にも価値観を反映させたい			
		単位:上段 件数、下段 %							
全体		590	365	120	96	301	19	9	
		100.0	61.9	20.3	16.3	51.0	3.2	1.5	
地域	日本	444	298	81	67	214	12	5	
		100.0	67.1	18.2	15.1	48.2	2.7	1.1	
	米国	69	34	20	19	40	3	1	
		100.0	49.3	29.0	27.5	58.0	4.3	1.4	
	英国	77	33	19	10	47	4	3	
		100.0	42.9	24.7	13.0	61.0	5.2	3.9	

Q14 (Q13で「投資行動を通じて、環境保全等の企業の社会的責任への対応を促進できると思うから」と答えた方に) そうした投資行動と収益との関係をごどのように考えますか。

この設問からは、3か国の収益に関する考え方の相違が明らかになった。「収益を犠牲にしてもよい」という回答が多かったのは、英国、米国、日本の順で、逆に「収益を犠牲にすることは好まない」という回答が多かったのは、日本、米国、英国の順であった。我が国は、明らかに「投資行動である以上、収益は重要である」とする傾向が強い。

		合計	Q14.その投資行動と収益との関係			無回答
			収益を犠牲にしてもよい	犠牲にしたい程度	収益を犠牲にしない	
		単位:上段 件数、下段 %				
全体		365	17	234	109	5
		100.0	4.7	64.0	29.9	1.4
地域	日本	298	10	184	100	4
		100.0	3.4	61.7	33.6	1.3
	米国	34	3	25	6	0
		100.0	8.8	73.6	17.6	0.0
	英国	33	4	25	3	1
		100.0	12.1	75.8	9.1	3.0

Q15 (Q11で「既に購入している」、「購入していないが関心はある」と答えた方に) どのような観点で企業を選んでいるファンドに興味がありますか。

この設問からは、国別にどのような観点で企業を選んでいるファンドに興味があるかについて関心の相違があることが明らかになった。我が国では、関心の高い順に「環境に配慮した商品・サービスを開発している」(84.2%)、「リサイクルや省エネルギーに熱心に取り組んでいる」(79.7%)、「法令・規則を守っている」(51.6%)である。米国では、関心の高い順に「環境に配慮した商品・サービスを開発している」(63.8%)、「リサイクルや省エネルギーに熱心に取り組んでいる」(60.9%)である。英国では、関心の高い順に「児童労働・強制労働を行っていない」(77.9%)、「環境に配慮した商品・サービスを開発している」(71.4%)、「リサイクルや省エネルギーに熱心に取り組んでいる」(70.1%)である。どの国においても環境問題への対応策の観点から企業を選定したファンドは、総じて大きな興味を集めていることが結果として得られている。

		合計	Q15.ファンドに興味をもつ観点												
			法令・規則を守っている	環境に配慮した商品・サービスを開発している	リサイクルや省エネルギーに熱心に取り組んでいる	女性の雇用・昇進に配慮している	障害者の雇用・昇進に配慮している	タバコに関連する事業をしていない	兵器や武器に関連する事業をしていない	児童労働・強制労働を行っていない	商品開発で動物実験をしていない	地域貢献に熱心である	その他	無回答	
単位:上段 件数、下段 %															
全体		590	274	473	450	137	157	117	216	185	120	240	10	14	
		100.0	46.4	80.2	76.3	23.2	26.6	19.8	36.6	31.4	20.3	40.7	1.7	2.4	
地域	日本	444	229	374	354	84	104	63	143	85	55	167	8	11	
		100.0	51.6	84.2	79.7	18.9	23.4	14.2	32.2	19.1	12.4	37.6	1.8	2.5	
	米国	69	25	44	42	29	29	24	27	40	23	38	0	2	
		100.0	36.2	63.8	60.9	42.0	42.0	34.8	39.1	58.0	33.3	55.1	0.0	2.9	
	英国	77	20	55	54	24	24	30	46	60	42	35	2	1	
		100.0	26.0	71.4	70.1	31.2	31.2	39.0	59.7	77.9	54.5	45.5	2.6	1.3	

Q16 (Q11で「既に購入している」、「購入していないが関心はある」と答えた方に) 投資をしようと考えている投資金額のどの程度の割合までをエコファンド、社会的責任投資ファンドに投資してもよいと考えますか。

この設問からは、3か国共通に、投資家が「エコファンド、社会的責任投資ファンドに投資してもよいと考える」投資金額は限定的であることが明らかになった。どの国でも、「全体の2割まで」とする回答が最も多く、総じて全体に対する割合が高くなるほど回答は減ってくる傾向にある。ただし、英国においては、「全額を投資してもよい」とする回答が16.9%ある。日米英を比較すると、我が国におい



て、「全体の2割まで」とする回答が最も多い。

		合計	Q16.エコファンド等に投資する割合					無回答
			2割まで	4割まで	6割まで	8割まで	全額	
単位：上段 件数、下段 %								
全体		590	320	172	57	8	22	11
		100.0	54.1	29.2	9.7	1.4	3.7	1.9
地域	日本	444	266	126	33	5	6	8
		100.0	59.9	28.4	7.4	1.1	1.4	1.8
	米国	69	28	26	9	1	3	2
		100.0	40.7	37.7	13.0	1.4	4.3	2.9
	英国	77	26	20	15	2	13	1
		100.0	33.7	26.0	19.5	2.6	16.9	1.3

Q17（Q11で「既に購入している」、「購入していないが関心はある」と答えた方に）社会的責任投資ファンドに改善すべきだと感じる点があれば、それはどのようなことですか。

この設問からは、エコファンドや社会的責任投資ファンドの課題が明らかになった。改善すべき点としては、3か国共通で最も回答が多かったのが「ファンドについての情報が不足している」であった。しかし、2番目に多かったのは我が国では「運用内容がわかりにくい」という意見であり、米英では「どこで手に入れてよいかわかりにくい」であった。この結果、エコファンドや社会的責任投資ファンドの課題として「情報不足」ということがありながらも、我が国においては、商品内容に関わる情報が、米英においては販売チャネルに関わる情報が課題になっている傾向がうかがえる。

		合計	Q17.エコファンド等の改善すべき点									無回答	
			どこで手に入れてよいか分かりにくい	購入単位が高額だ	他の金融商品との区別	と収益性が期待できない	ファンドに関する情報が不足している	ファンドに関する情報が過剰である	投資アドバイザーの理	知名度不足	運用内容がわかりにくい		その他
単位：上段 件数、下段 %													
全体		590	251	147	201	185	384	10	99	239	253	14	13
		100.0	42.5	24.9	34.1	31.4	65.1	1.7	16.8	40.5	42.9	2.4	2.2
地域	日本	444	174	98	175	130	298	5	60	195	218	11	9
		100.0	39.2	22.1	39.4	29.3	67.1	1.1	13.5	43.9	49.1	2.5	2.0
	米国	69	39	20	11	25	41	3	18	24	19	0	3
		100.0	56.5	29.0	15.9	36.2	59.4	4.3	26.1	34.8	27.5	0.0	4.3
	英国	77	38	29	15	30	45	2	21	20	16	3	1
		100.0	49.4	37.7	19.5	39.0	58.4	2.6	27.3	26.0	20.8	3.9	1.3

### 3.3 質問紙調査による社会的責任投資を選好する個人投資家の属性分析

#### 3.3.1 年齢、性別、未婚・既婚による属性分析

【日本】

Q4 企業の社会的責任（企業のあり方、社会に対して誠実に取り組んでいるかどうか）について関心がありますか。

この設問に対して、どちらかといえば若年層の方が「関心がない」という傾向が、熟年層の方が「関心がある」とする傾向がある。

また性別では、女性より男性の方が「関心がある」という傾向が強い。未婚、既婚の別ではあまり変化は見られない。

単位：上段 件数、下段 %		合計	Q4.企業の社会的責任についての関心					無回答
			とても関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	関心がまったくない	わからない	
全体		1670 100.0	575 34.4	841 50.4	180 10.8	19 1.1	55 3.3	0 0.0
年齢	20歳未満	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～24歳	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	25～29歳	322 100.0	101 31.4	155 48.0	46 14.3	5 1.6	15 4.7	0 0.0
	30～34歳	358 100.0	110 30.7	186 52.0	47 13.1	5 1.4	10 2.8	0 0.0
	35～39歳	340 100.0	122 35.9	170 50.0	31 9.1	1 0.3	16 4.7	0 0.0
	40～44歳	285 100.0	84 29.5	156 54.7	31 10.9	6 2.1	8 2.8	0 0.0
	45～49歳	140 100.0	42 30.0	77 55.0	15 10.7	2 1.4	4 2.9	0 0.0
	50～54歳	105 100.0	55 52.4	44 41.9	6 5.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	55～59歳	45 100.0	21 46.7	23 51.1	1 2.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	60～64歳	36 100.0	21 58.3	14 38.9	1 2.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	65～69歳	23 100.0	13 56.6	8 34.8	1 4.3	0 0.0	1 4.3	0 0.0
	70～74歳	10 100.0	4 40.0	5 50.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	75～79歳	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	80歳以上	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
性別	男性	1022 100.0	424 41.5	471 46.0	97 9.5	8 0.8	22 2.2	0 0.0
	女性	648 100.0	151 23.3	370 57.1	83 12.8	11 1.7	33 5.1	0 0.0
婚姻状況	結婚している	1151 100.0	395 34.3	584 50.8	126 10.9	10 0.9	36 3.1	0 0.0
	結婚していない	519 100.0	180 34.7	257 49.5	54 10.4	9 1.7	19 3.7	0 0.0

網掛けは、全体平均%より5ポイント以上多い属性項目。

Q7 あなたは証券投資をするときに企業の社会的責任を考慮に入れて投資判断を行うべきだとお考えですか。

この設問に対して、どちらかといえば若年層の方が「考慮に入れなくてよい」という傾向が、熟年層の方が「考慮に入れるべきだ」とする傾向がある。

また性別では、女性より男性の方が「考慮に入れるべきだ」という傾向がやや強いが、「ある程度考慮に入れるべきだ」までを肯定的回答として集約すると大差はない。未婚、既婚の別ではあまり変化は見られない。

		合計	Q7.証券投資の際の企業の社会的責任の配慮			
			考慮に入れ るべきだと思 う	ある程度考 慮に入れる べきだ	考慮に入れ なくてよい	無回答
単位：上段 件数、下段 %						
全体		1670 100.0	567 34.0	921 55.1	182 10.9	0 0.0
年 齢	20歳未満	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	20～24歳	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
	25～29歳	322 100.0	106 32.9	178 55.3	38 11.8	0 0.0
	30～34歳	358 100.0	131 36.6	185 51.7	42 11.7	0 0.0
	35～39歳	340 100.0	121 35.6	181 53.2	38 11.2	0 0.0
	40～44歳	285 100.0	85 29.8	167 58.6	33 11.6	0 0.0
	45～49歳	140 100.0	37 26.4	84 60.0	19 13.6	0 0.0
	50～54歳	105 100.0	42 40.0	55 52.4	8 7.6	0 0.0
	55～59歳	45 100.0	17 37.8	27 60.0	1 2.2	0 0.0
	60～64歳	36 100.0	12 33.3	24 66.7	0 0.0	0 0.0
	65～69歳	23 100.0	10 43.5	12 52.2	1 4.3	0 0.0
	70～74歳	10 100.0	3 30.0	6 60.0	1 10.0	0 0.0
	75～79歳	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	80歳以上	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
性 別	男性	1022 100.0	365 35.7	541 52.9	116 11.4	0 0.0
	女性	648 100.0	202 31.2	380 58.6	66 10.2	0 0.0
婚 姻 状 況	結婚している	1151 100.0	388 33.7	645 56.0	118 10.3	0 0.0
	結婚していない	519 100.0	179 34.5	276 53.2	64 12.3	0 0.0

網掛けは、全体平均%より5ポイント以上多い属性項目。

Q10 エコファンド、または社会的責任投資ファンドをご存知ですか。

この設問に対して、どちらかといえば若年層の方が「知らない」という傾向が、熟年層の方が「すこし知っている」とする傾向がある。また性別では、女性で「まったく知らない」という割合が大きい。未婚、既婚の別ではあまり変化は見られない。

単位：上段 件数、下段 %		合計	Q10.エコファンド、社会的責任投資ファンド			
			よく知っている	すこし知っている	まったく知らない	無回答
全体		1670 100.0	61 3.7	516 30.9	1093 65.4	0 0.0
年齢	20歳未満	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
	20～24歳	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
	25～29歳	322 100.0	11 3.4	73 22.7	238 73.9	0 0.0
	30～34歳	358 100.0	10 2.8	94 26.3	254 70.9	0 0.0
	35～39歳	340 100.0	10 2.9	104 30.6	226 66.5	0 0.0
	40～44歳	285 100.0	9 3.2	96 33.7	180 63.1	0 0.0
	45～49歳	140 100.0	7 5.0	49 35.0	84 60.0	0 0.0
	50～54歳	105 100.0	5 4.8	45 42.9	55 52.3	0 0.0
	55～59歳	45 100.0	3 6.7	21 46.6	21 46.7	0 0.0
	60～64歳	36 100.0	2 5.6	20 55.5	14 38.9	0 0.0
	65～69歳	23 100.0	4 17.4	8 34.8	11 47.8	0 0.0
	70～74歳	10 100.0	0 0.0	5 50.0	5 50.0	0 0.0
	75～79歳	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0
	80歳以上	2 100.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
性別	男性	1022 100.0	52 5.1	333 32.6	637 62.3	0 0.0
	女性	648 100.0	9 1.4	183 28.2	456 70.4	0 0.0
婚姻状況	結婚している	1151 100.0	44 3.8	367 31.9	740 64.3	0 0.0
	結婚していない	519 100.0	17 3.3	149 28.7	353 68.0	0 0.0

網掛けは、全体平均%より5ポイント以上多い属性項目。

Q11 (Q10で「よく知っている」、「すこし知っている」と答えた方に) エコ  
 ファンドや社会的責任投資ファンドの購入にどの程度関心がありますか。

この設問に対して、どちらかといえば若年層の方が「購入していないし関心もない」という傾向が、熟年層の方が「購入していないが関心はある」とする傾向がある。

また性別では、女性より男性の方が「購入していないが関心はある」という傾向がやや強い。未婚、既婚の別ではあまり変化は見られない。

bu		合計	Q11.エコファンド等への関心度			
			既に購入している	購入していないが関心はある	購入していないし関心もない	無回答
全体		577 100.0	7 1.2	437 75.7	125 21.7	8 1.4
年齢	20歳未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～24歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	25～29歳	84 100.0	0 0.0	64 76.2	19 22.6	1 1.2
	30～34歳	104 100.0	2 1.9	74 71.2	24 23.1	4 3.8
	35～39歳	114 100.0	1 0.9	85 74.5	28 24.6	0 0.0
	40～44歳	105 100.0	1 1.0	81 77.1	23 21.9	0 0.0
	45～49歳	56 100.0	1 1.8	41 73.2	12 21.4	2 3.6
	50～54歳	50 100.0	0 0.0	41 82.0	9 18.0	0 0.0
	55～59歳	24 100.0	0 0.0	21 87.5	3 12.5	0 0.0
	60～64歳	22 100.0	1 4.5	16 72.8	4 18.2	1 4.5
	65～69歳	12 100.0	1 8.3	10 83.4	1 8.3	0 0.0
	70～74歳	5 100.0	0 0.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0
	75～79歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
80歳以上	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	
性別	男性	385 100.0	6 1.6	296 76.9	79 20.5	4 1.0
	女性	192 100.0	1 0.5	141 73.4	46 24.0	4 2.1
婚姻状況	結婚している	411 100.0	5 1.2	315 76.6	87 21.2	4 1.0
	結婚していない	166 100.0	2 1.2	122 73.5	38 22.9	4 2.4

網掛けは、全体平均%より5ポイント以上多い属性項目。

【米国】

Q4 企業の社会的責任（企業のあり方、社会に対して誠実に取り組んでいるかどうか）について関心がありますか。

この設問に対して、どちらかといえば若年層の方が「関心がない」という傾向が、熟年層の方が「関心がある」とする傾向がある。

また性別では、「関心がある」という傾向に差は見られない。未婚、既婚の別ではどちらかといえば、既婚の方にやや「関心がある」という傾向がある。

単位：上段 件数、下段 %		合計	Q4.企業の社会的責任についての関心					わからない	無回答
			とても関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	関心がまったくない			
全体		309 100.0	139 45.0	109 35.3	23 7.4	20 6.5	18 5.8	0 0.0	
年齢	20歳未満	4 100.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	
	20～24歳	15 100.0	3 20.0	6 40.0	3 20.0	3 20.0	0 0.0	0 0.0	
	25～29歳	29 100.0	8 27.6	12 41.5	1 3.4	3 10.3	5 17.2	0 0.0	
	30～34歳	34 100.0	12 35.3	13 38.2	4 11.8	2 5.9	3 8.8	0 0.0	
	35～39歳	41 100.0	19 46.3	15 36.6	2 4.9	3 7.3	2 4.9	0 0.0	
	40～44歳	37 100.0	16 43.3	14 37.8	3 8.1	2 5.4	2 5.4	0 0.0	
	45～49歳	51 100.0	28 54.9	13 25.5	5 9.8	3 5.9	2 3.9	0 0.0	
	50～54歳	35 100.0	20 57.1	12 34.3	3 8.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	55～59歳	40 100.0	19 47.5	15 37.5	1 2.5	3 7.5	2 5.0	0 0.0	
	60～64歳	9 100.0	4 44.5	3 33.3	1 11.1	0 0.0	1 11.1	0 0.0	
	65～69歳	9 100.0	6 66.7	3 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	70～74歳	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
	75～79歳	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
80歳以上	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0		
性別	男性	90 100.0	40 44.3	33 36.7	6 6.7	5 5.6	6 6.7	0 0.0	
	女性	219 100.0	99 45.2	76 34.7	17 7.8	15 6.8	12 5.5	0 0.0	
婚姻状況	結婚している	189 100.0	90 47.6	67 35.4	13 6.9	9 4.8	10 5.3	0 0.0	
	結婚していない	120 100.0	49 40.8	42 35.0	10 8.3	11 9.2	8 6.7	0 0.0	

網掛けは、全体平均%より5ポイント以上多い属性項目。

Q7 あなたは証券投資をするときに企業の社会的責任を考慮に入れて投資判断を行うべきだとお考えですか。

この設問に対して、年齢と考え方についての関連は、必ずしも明確ではない。

一方性別では、男性より女性の方が明確に「考慮に入れるべきだ」という傾向がやや強い。未婚、既婚の別でも、既婚の方が明確に「考慮に入れるべきだ」という傾向がやや強い。

		合計	Q7.証券投資の際の企業の社会的責任の配慮			
			考慮に入れるべきだと思う	ある程度考慮に入れるべきだ	考慮に入れてよくない	無回答
単位：上段 件数、下段 %						
全体		309 100.0	167 54.0	117 37.9	25 8.1	0 0.0
年齢	20歳未満	4 100.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0
	20～24歳	15 100.0	4 26.7	8 53.3	3 20.0	0 0.0
	25～29歳	29 100.0	14 48.3	12 41.4	3 10.3	0 0.0
	30～34歳	34 100.0	16 47.0	14 41.2	4 11.8	0 0.0
	35～39歳	41 100.0	26 63.5	14 34.1	1 2.4	0 0.0
	40～44歳	37 100.0	18 48.7	17 45.9	2 5.4	0 0.0
	45～49歳	51 100.0	28 54.9	18 35.3	5 9.8	0 0.0
	50～54歳	35 100.0	24 68.6	11 31.4	0 0.0	0 0.0
	55～59歳	40 100.0	21 52.5	15 37.5	4 10.0	0 0.0
	60～64歳	9 100.0	4 44.5	3 33.3	2 22.2	0 0.0
	65～69歳	9 100.0	7 77.8	1 11.1	1 11.1	0 0.0
	70～74歳	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
	75～79歳	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	80歳以上	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	性別	男性	90 100.0	44 48.9	38 42.2	8 8.9
女性		219 100.0	123 56.1	79 36.1	17 7.8	0 0.0
婚姻状況	結婚している	189 100.0	107 56.6	68 36.0	14 7.4	0 0.0
	結婚していない	120 100.0	60 50.0	49 40.8	11 9.2	0 0.0

網掛けは、全体平均%より5ポイント以上多い属性項目。

Q10エコファンド、または社会的責任投資ファンドをご存知ですか。

この設問に対して、どちらかといえば若年層の方が「知らない」という傾向が、熟年層の方が「知っている」とする傾向がある。また性別では、女性で「知らない」という傾向がやや強い。未婚、既婚の別では既婚で「知らない」という傾向がやや強い。

単位：上段 件数、下段 %		合計	Q10.エコファンド、社会的責任投資ファンド			
			よく知っている	すこし知っている	まったく知らない	無回答
全体		309 100.0	18 5.8	82 26.5	209 67.7	0 0.0
年齢	20歳未満	4 100.0	0 0.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0
	20～24歳	15 100.0	1 6.7	2 13.3	12 80.0	0 0.0
	25～29歳	29 100.0	2 6.9	4 13.8	23 79.3	0 0.0
	30～34歳	34 100.0	2 5.9	6 17.6	26 76.5	0 0.0
	35～39歳	41 100.0	2 4.9	13 31.7	26 63.4	0 0.0
	40～44歳	37 100.0	1 2.7	12 32.4	24 64.9	0 0.0
	45～49歳	51 100.0	4 7.8	12 23.5	35 68.7	0 0.0
	50～54歳	35 100.0	1 2.9	11 31.4	23 65.7	0 0.0
	55～59歳	40 100.0	2 5.0	14 35.0	24 60.0	0 0.0
	60～64歳	9 100.0	0 0.0	3 33.3	6 66.7	0 0.0
	65～69歳	9 100.0	2 22.2	2 22.2	5 55.6	0 0.0
	70～74歳	4 100.0	1 25.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0
	75～79歳	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	80歳以上	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
性別	男性	90 100.0	8 8.9	26 28.9	56 62.2	0 0.0
	女性	219 100.0	10 4.6	56 25.6	153 69.8	0 0.0
婚姻状況	結婚している	189 100.0	10 5.3	45 23.8	134 70.9	0 0.0
	結婚していない	120 100.0	8 6.7	37 30.8	75 62.5	0 0.0

網掛けは、全体平均%より5ポイント以上多い属性項目



Q11( Q10で「よく知っている」、「すこし知っている」と答えた方に) エコ  
 ファンドや社会的責任投資ファンドの購入にどの程度関心がありますか。

この設問に対して、年齢と関心についての関連は、必ずしも明確ではない。

一方性別では、男性より女性の方が「購入していないが関心はある」という傾向が強い。未婚、既婚の別ではあまり変化は見られない。

単位:上段 件数、下段 %		合計	Q11.エコファンド等への関心度			
			既に購入している	購入していないが関心はある	購入していないし関心もない	無回答
全体		100 100.0	12 12.0	57 57.0	24 24.0	7 7.0
年齢	20歳未満	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0
	20～24歳	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0
	25～29歳	6 100.0	0 0.0	4 66.7	0 0.0	2 33.3
	30～34歳	8 100.0	1 12.5	4 50.0	2 25.0	1 12.5
	35～39歳	15 100.0	2 13.3	9 60.0	3 20.0	1 6.7
	40～44歳	13 100.0	1 7.7	8 61.5	3 23.1	1 7.7
	45～49歳	16 100.0	3 18.8	10 62.4	2 12.5	1 6.3
	50～54歳	12 100.0	3 25.0	7 58.3	2 16.7	0 0.0
	55～59歳	16 100.0	1 6.3	7 43.8	8 49.9	0 0.0
	60～64歳	3 100.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0
	65～69歳	4 100.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0
	70～74歳	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	75～79歳	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
	80歳以上	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
性別	男性	34 100.0	4 11.8	16 47.0	11 32.4	3 8.8
	女性	66 100.0	8 12.1	41 62.1	13 19.7	4 6.1
婚姻状況	結婚している	55 100.0	6 10.9	30 54.6	13 23.6	6 10.9
	結婚していない	45 100.0	6 13.3	27 60.1	11 24.4	1 2.2

網掛けは、全体平均%より5ポイント以上多い属性項目

【英国】

Q4 企業の社会的責任（企業のあり方、社会に対して誠実に取り組んでいるかどうか）について関心がありますか。

この設問に対して、どちらかといえば若年層の方が「関心がない」という傾向が、熟年層の方が「関心がある」とする傾向がある。

また性別では、女性より男性の方が「関心がある」という傾向が強い。未婚、既婚の別ではどちらかといえば、既婚の方にやや「関心がある」という傾向がある。

単位 : 上段 件数、下段 %	合計	Q4.企業の社会的責任についての関心						
		とても関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	関心がまったくない	わからない	無回答	
全体	306 100.0	80 26.1	126 41.2	45 14.7	28 9.2	27 8.8	0 0.0	
年齢	20歳未満	20 100.0	1 5.0	5 25.0	5 25.0	5 25.0	4 20.0	0 0.0
	20～24歳	23 100.0	4 17.4	9 39.1	2 8.7	4 17.4	4 17.4	0 0.0
	25～29歳	34 100.0	5 14.7	17 50.1	8 23.5	3 8.8	1 2.9	0 0.0
	30～34歳	37 100.0	11 29.7	15 40.6	5 13.5	2 5.4	4 10.8	0 0.0
	35～39歳	44 100.0	9 20.5	21 47.6	4 9.1	5 11.4	5 11.4	0 0.0
	40～44歳	40 100.0	11 27.5	14 35.0	10 25.0	3 7.5	2 5.0	0 0.0
	45～49歳	37 100.0	9 24.3	17 46.0	5 13.5	3 8.1	3 8.1	0 0.0
	50～54歳	22 100.0	7 31.8	10 45.5	2 9.1	1 4.5	2 9.1	0 0.0
	55～59歳	28 100.0	13 46.4	11 39.3	4 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	60～64歳	11 100.0	6 54.5	3 27.3	0 0.0	1 9.1	1 9.1	0 0.0
	65～69歳	5 100.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0
	70～74歳	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	75～79歳	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	80歳以上	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
性別	男性	166 100.0	53 31.9	71 42.9	19 11.4	13 7.8	10 6.0	0 0.0
	女性	140 100.0	27 19.3	55 39.3	26 18.6	15 10.7	17 12.1	0 0.0
婚姻状況	結婚している	158 100.0	49 31.0	64 40.5	24 15.2	10 6.3	11 7.0	0 0.0
	結婚していない	148 100.0	31 20.9	62 41.9	21 14.2	18 12.2	16 10.8	0 0.0

網掛けは、全体平均%より5ポイント以上多い属性項目

Q7 あなたは証券投資をするときに企業の社会的責任を考慮に入れて投資判断を行うべきだとお考えですか。

この設問に対して、どちらかといえば若年層の方が「考慮に入れなくてよい」という傾向が、熟年層の方が「考慮に入れるべきだ」、「ある程度考慮に入れるべきだ」とする傾向がある。

また性別では、男性より女性の方が「考慮に入れるべきだ」という傾向がやや強い。未婚、既婚の別ではどちらかといえば、既婚の方にやや「考慮に入れるべきだ」という傾向がある。

		合計	Q7.証券投資の際の企業の社会的責任の考慮			
			考慮に入れ るべきだと 思う	ある程度考 慮に入れる べきだ	考慮に入れ なくてよい	無回答
単位：上段 件数、下段 %						
全体		306 100.0	143 46.7	115 37.6	48 15.7	0 0.0
年 齢	20歳未満	20 100.0	4 20.0	6 30.0	10 50.0	0 0.0
	20～24歳	23 100.0	7 30.4	10 43.5	6 26.1	0 0.0
	25～29歳	34 100.0	12 35.3	16 47.1	6 17.6	0 0.0
	30～34歳	37 100.0	16 43.2	17 46.0	4 10.8	0 0.0
	35～39歳	44 100.0	16 36.4	20 45.4	8 18.2	0 0.0
	40～44歳	40 100.0	24 60.0	10 25.0	6 15.0	0 0.0
	45～49歳	37 100.0	22 59.5	15 40.5	0 0.0	0 0.0
	50～54歳	22 100.0	15 68.2	3 13.6	4 18.2	0 0.0
	55～59歳	28 100.0	15 53.6	11 39.3	2 7.1	0 0.0
	60～64歳	11 100.0	6 54.5	3 27.3	2 18.2	0 0.0
	65～69歳	5 100.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	70～74歳	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0
	75～79歳	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	80歳以上	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	性 別	男性	166 100.0	77 46.4	61 36.7	28 16.9
女性		140 100.0	66 47.1	54 38.6	20 14.3	0 0.0
婚 姻 状 況	結婚している	158 100.0	76 48.1	60 38.0	22 13.9	0 0.0
	結婚していない	148 100.0	67 45.2	55 37.2	26 17.6	0 0.0

網掛けは、全体平均%より5ポイント以上多い属性項目

Q10 エコファンド、または社会的責任投資ファンドをご存知ですか。

この設問に対して、どちらかといえば若年層の方に「知らない」という傾向があるが、その後年齢が高くなるにつれて「知っている」が多くなるということは言い切れない。また性別では、女性で「知らない」という傾向が強い。未婚、既婚の別では未婚で「知らない」という傾向がやや強い。

単位：上段 件数、下段 %		合計	Q10.エコファンド、社会的責任投資ファンド			
			よく知っている	すこし知っている	まったく知らない	無回答
全体		306 100.0	9 2.9	106 34.6	191 62.5	0 0.0
年齢	20歳未満	20 100.0	0 0.0	4 20.0	16 80.0	0 0.0
	20～24歳	23 100.0	1 4.3	5 21.7	17 74.0	0 0.0
	25～29歳	34 100.0	0 0.0	8 23.5	26 76.5	0 0.0
	30～34歳	37 100.0	2 5.4	13 35.1	22 59.5	0 0.0
	35～39歳	44 100.0	1 2.3	16 36.4	27 61.3	0 0.0
	40～44歳	40 100.0	0 0.0	19 47.5	21 52.5	0 0.0
	45～49歳	37 100.0	2 5.4	11 29.7	24 64.9	0 0.0
	50～54歳	22 100.0	0 0.0	8 36.4	14 63.6	0 0.0
	55～59歳	28 100.0	2 7.1	17 60.8	9 32.1	0 0.0
	60～64歳	11 100.0	0 0.0	3 27.3	8 72.7	0 0.0
	65～69歳	5 100.0	0 0.0	1 20.0	4 80.0	0 0.0
	70～74歳	3 100.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0
	75～79歳	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
	80歳以上	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
性別	男性	166 100.0	9 5.4	65 39.2	92 55.4	0 0.0
	女性	140 100.0	0 0.0	41 29.3	99 70.7	0 0.0
婚姻状況	結婚している	158 100.0	6 3.8	58 36.7	94 59.5	0 0.0
	結婚していない	148 100.0	3 2.0	48 32.4	97 65.6	0 0.0

網掛けは、全体平均%より5ポイント以上多い属性項目

Q11 (Q10で「よく知っている」、「すこし知っている」と答えた方に) エコファンドや社会的責任投資ファンドの購入にどの程度関心がありますか。

この設問に対して、年齢と購入の実態もしくは関心との関係は必ずしも明確ではない。

また性別では、男性より女性の方が「購入していないが関心はある」という傾向は強い。未婚、既婚の別では未婚に「購入していないし関心もない」という回答が多い。

単位: 上段 件数、下段 %		合計	Q11.エコファンド等への関心度			
			既に購入している	購入していないが関心はある	購入していないし関心もない	無回答
全体		115 100.0	7 6.1	70 60.8	34 29.6	4 3.5
年齢	20歳未満	4 100.0	0 0.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0
	20～24歳	6 100.0	1 16.7	2 33.3	3 50.0	0 0.0
	25～29歳	8 100.0	0 0.0	3 37.5	5 62.5	0 0.0
	30～34歳	15 100.0	1 6.7	8 53.3	4 26.7	2 13.3
	35～39歳	17 100.0	2 11.8	13 76.4	2 11.8	0 0.0
	40～44歳	19 100.0	0 0.0	13 68.4	5 26.3	1 5.3
	45～49歳	13 100.0	0 0.0	10 76.9	2 15.4	1 7.7
	50～54歳	8 100.0	1 12.5	4 50.0	3 37.5	0 0.0
	55～59歳	19 100.0	0 0.0	12 63.2	7 36.8	0 0.0
	60～64歳	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
	65～69歳	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	70～74歳	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	75～79歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	80歳以上	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
性別	男性	74 100.0	5 6.8	42 56.7	24 32.4	3 4.1
	女性	41 100.0	2 4.9	28 68.3	10 24.4	1 2.4
婚姻状況	結婚している	64 100.0	3 4.7	42 65.6	16 25.0	3 4.7
	結婚していない	51 100.0	4 7.8	28 54.9	18 35.3	1 2.0

網掛けは、全体平均%より5ポイント以上多い属性項目

### 3.3.2 年齢、性別、未婚・既婚による属性分析 仮説検証

今回の質問紙調査の結果を踏まえ、年齢、性別、未婚・既婚の別が社会的責任投資の選好を左右する属性であるという仮説を検証するため、図表 3.1 のような 3×4 のマトリックスを作成した。各々のセルには国別に「表側の属性項目ごとに属性の違いが表頭の行動の違いと関連性を有する」傾向があるか否かを示している

図表 3.1 年齢、性別、未婚・既婚による属性分析 仮説検証

	Q4企業の社会的責任についての関心	Q7証券投資の際の企業の社会的責任の配慮	Q10エコファンド、社会的責任投資ファンドの認知	Q11エコファンド等への関心度
年齢との関連性	日本	日本	日本	日本
	米国	米国 -	米国	米国 -
	英国	英国	英国	英国 -
性別との関連性	日本	日本 -	日本	日本
	米国 -	米国	米国	米国
	英国	英国	英国	英国
未婚・既婚の別との関連性	日本 -	日本 -	日本 -	日本 -
	米国	米国	米国	米国 -
	英国	英国	英国	英国

- ：属性の違いにしたがって、関連性が読み取れる。
- ：属性の違いにしたがって、やや関連性が読み取れる。
- ：属性の違いにしたがって、関連性が読み取れない。

この表で、3か国のいずれの国においても、属性の違いにしたがって、一定の関連性が読み取れる結果になった属性項目と行動との組み合わせは以下の4パターンである（上表で点線で示した）。

- 1) 年齢と「企業の社会的責任についての関心」との間には、若年齢層で「関心がまったくない」という割合が多く、年齢が上るにつれて「関心がある」とする割合が多くなっていく傾向が、3か国共通で認められる。
- 2) 年齢と「エコファンド、社会的責任投資ファンドの認知」との間には、我が国において若年齢層で「まったく知らない」という割合が多く、年齢が上るにつれて「知っている」とする割合が多くなっていく傾向があり、米国と英国でも

やや同様の傾向がうかがわれる。

- 3) 性別と「エコファンド、社会的責任投資ファンドの認知」との間には、我が国と英国において女性の方に「まったく知らない」という割合が多く、男性の方が「知っている」とする割合が多くなっていく傾向があり、米国でもやや同様の傾向がうかがわれる。
- 4) 性別と「エコファンド等への関心」との間には、米国において女性の方に「購入していないが関心はある」、「既に購入している」という割合が多い傾向があり、英国においてもやや同様の傾向がうかがわれるが、我が国においてはやや逆の傾向がうかがわれる結果となっている。

なお、未婚・既婚の別と社会的責任投資の選好との間には、3か国共通で、一定の関連性を読み取ることはできなかった。

以上のことから、今回の質問紙調査では、年齢、性別、未婚・既婚の別が社会的責任投資の選好を左右する属性であるという仮説（若年層ほど社会的責任投資行動を好む、男性より女性の方が社会的責任行動を好む、既婚者より未婚者の方が社会的責任投資行動を好む等）は必ずしも明確に支持されないという結論となった。

### 3.3.3 職種、社会活動への参加、証券投資経験年数による属性分析

【日本】

#### Q 4 企業の社会的責任について関心がありますか。

この設問に対して、職種では「管理職」、「役員」、「退職者」において「関心がある」側の傾向が強い。逆に、「無職（主婦）」、「その他」において「関心がない」側の傾向が強い。社会活動への参加では「慈善団体などへの寄付」、「ボランティア活動」、「NPO/NGO に所属」において「関心がある」側の傾向が強い。逆に「この中で特に行っていることはない」において「関心がない」側の傾向が強い。証券投資の経験年数では総じて経験年数の長い層に「関心がある」側の傾向が強い。

#### Q 7 あなたは証券投資をするときに企業の社会的責任を考慮に入れて投資判断を行うべきだとお考えですか。

この設問に対して、職種では「管理職」、「退職者」、「その他」において「考慮に入れるべき」側の傾向が強い。逆に、「無職（主婦）」において「考慮に入れなくてよい」側の傾向が強い。社会活動への参加では「ボランティア活動」、「NPO/NGO に所属」、「その他」において「考慮に入れるべき」側の傾向が強い。逆に「この中で特に行っていることはない」において「考慮に入れなくてよい」側の傾向が強い。証券投資の経験年数と回答の間の傾向を読み取ることはできない。

#### Q 10 エコファンド、または社会的責任投資ファンドをご存知ですか。

この設問に対して、職種では「管理職」、「役員」、「退職者」において「知っている」側の傾向が強い。逆に、「無職（主婦）」において「知らない」側の傾向が強い。社会活動への参加では「慈善団体などへの寄付」、「コミュニティ活動への参加」、「NPO/NGO に所属」において「知っている」側の傾向が強い。逆に「この中で特に行っていることはない」において「知らない」側の傾向が強い。証券投資の経験年数では、総じて経験年数の長い層に「知っている」側の傾向が強い。

#### Q 11 エコファンドや社会的責任投資ファンドの購入にどの程度関心がありますか。

この設問に対して、職種では「専門職」、「管理職」、「退職者」において「関心がある」側の傾向が強い。逆に、「役員」において「関心がない」側の傾向が強い。社会活動への参加では「NPO/NGO に所属」、「労働組合への活動に参加」、「政治活動への参加」において「関心がある」側の傾向が強い。逆に「この中で特に行っていることはない」において「関心がない」側の傾向が強い。証券投資の経験年数と回答の間の傾向を読み取ることはできない。



		合計	Q4.企業の社会的責任についての関心					無回答
			とても関 心がある	ある程度 関心があ る	あまり関 心がない	関心が まったく ない	わからな い	
単位：上段 件数、下段 %								
全体		1670 100.0	575 34.4	841 50.4	180 10.8	19 1.1	55 3.3	0 0.0
職種	専門職	195 100.0	78 40.0	95 48.7	12 6.2	2 1.0	8 4.1	0 0.0
	管理職	123 100.0	57 46.4	55 44.7	9 7.3	1 0.8	1 0.8	0 0.0
	役員	29 100.0	11 37.9	17 58.7	1 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	技術職	321 100.0	123 38.3	156 48.6	33 10.3	4 1.2	5 1.6	0 0.0
	事務職	265 100.0	83 31.3	147 55.4	24 9.1	2 0.8	9 3.4	0 0.0
	営業職	149 100.0	50 33.6	73 48.9	22 14.8	1 0.7	3 2.0	0 0.0
	退職者	39 100.0	21 53.9	16 41.0	2 5.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無職(主婦)	338 100.0	71 21.0	192 56.8	52 15.4	5 1.5	18 5.3	0 0.0
	無職(その他)	112 100.0	47 41.9	42 37.5	15 13.4	1 0.9	7 6.3	0 0.0
	その他	99 100.0	34 34.3	48 48.6	10 10.1	3 3.0	4 4.0	0 0.0
社会活動への参加	日常生活における 環境保全への配慮	1062 100.0	417 39.3	540 50.8	72 6.8	9 0.8	24 2.3	0 0.0
	慈善団体などへの 寄付	210 100.0	102 48.6	93 44.3	15 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	ボランティア活動 への参加	248 100.0	119 48.0	111 44.8	13 5.2	2 0.8	3 1.2	0 0.0
	コミュニティ活動 への参加	172 100.0	77 44.8	80 46.5	10 5.8	3 1.7	2 1.2	0 0.0
	NPO/NGOに所属	34 100.0	21 61.8	12 35.3	1 2.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	労働組合の活動へ の参加	102 100.0	47 46.0	43 42.2	11 10.8	0 0.0	1 1.0	0 0.0
	政治活動への参加	25 100.0	13 52.0	8 32.0	2 8.0	0 0.0	2 8.0	0 0.0
	宗教団体の活動へ の参加	64 100.0	23 35.9	31 48.5	7 10.9	1 1.6	2 3.1	0 0.0
	この中で特に行っ ていることはない	455 100.0	108 23.7	226 49.7	83 18.2	10 2.2	28 6.2	0 0.0
	その他	8 100.0	3 37.5	3 37.5	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0
証券投資の経験年数	経験はない	872 100.0	253 29.0	432 49.6	124 14.2	16 1.8	47 5.4	0 0.0
	1年未満	115 100.0	40 34.8	66 57.3	7 6.1	1 0.9	1 0.9	0 0.0
	1年以上2年未満	112 100.0	41 36.6	61 54.5	8 7.1	0 0.0	2 1.8	0 0.0
	2年以上4年未満	190 100.0	76 40.0	100 52.6	14 7.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	4年以上6年未満	77 100.0	37 48.1	38 49.3	2 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	6年以上	304 100.0	128 42.1	144 47.4	25 8.2	2 0.7	5 1.6	0 0.0

網掛けは、全体平均%より5ポイント以上多い属性項目。

		合計	Q7.証券投資の際の企業の社会的責任の配慮			
			考慮に入れるべきだと思う	ある程度考慮に入れるべきだ	考慮に入れなくてよい	無回答
単位：上段 件数、下段 %						
全体		1670 100.0	567 34.0	921 55.1	182 10.9	0 0.0
職種	専門職	195 100.0	63 32.3	113 58.0	19 9.7	0 0.0
	管理職	123 100.0	43 35.0	69 56.1	11 8.9	0 0.0
	役員	29 100.0	10 34.5	15 51.7	4 13.8	0 0.0
	技術職	321 100.0	113 35.2	167 52.0	41 12.8	0 0.0
	事務職	265 100.0	86 32.5	147 55.4	32 12.1	0 0.0
	営業職	149 100.0	57 38.3	73 48.9	19 12.8	0 0.0
	退職者	39 100.0	17 43.6	20 51.3	2 5.1	0 0.0
	無職(主婦)	338 100.0	101 29.9	203 60.0	34 10.1	0 0.0
	無職(その他)	112 100.0	38 33.9	64 57.2	10 8.9	0 0.0
	その他	99 100.0	39 39.4	50 50.5	10 10.1	0 0.0
	社会活動への参加	日常生活における環境保全への配慮	1062 100.0	400 37.7	584 55.0	78 7.3
慈善団体などへの寄付		210 100.0	86 41.0	113 53.8	11 5.2	0 0.0
ボランティア活動への参加		248 100.0	108 43.5	129 52.1	11 4.4	0 0.0
コミュニティ活動への参加		172 100.0	69 40.1	95 55.2	8 4.7	0 0.0
NPO/NGOに所属		34 100.0	20 58.8	11 32.4	3 8.8	0 0.0
労働組合の活動への参加		102 100.0	38 37.3	54 52.9	10 9.8	0 0.0
政治活動への参加		25 100.0	10 40.0	13 52.0	2 8.0	0 0.0
宗教団体の活動への参加		64 100.0	29 45.3	29 45.3	6 9.4	0 0.0
この中で特に行っていることはない		455 100.0	120 26.4	254 55.8	81 17.8	0 0.0
その他		8 100.0	3 37.5	5 62.5	0 0.0	0 0.0
証券投資の経験年数	経験はない	872 100.0	322 36.9	441 50.6	109 12.5	0 0.0
	1年未満	115 100.0	37 32.2	64 55.6	14 12.2	0 0.0
	1年以上2年未満	112 100.0	26 23.2	80 71.4	6 5.4	0 0.0
	2年以上4年未満	190 100.0	55 28.9	116 61.1	19 10.0	0 0.0
	4年以上6年未満	77 100.0	26 33.8	44 57.1	7 9.1	0 0.0
	6年以上	304 100.0	101 33.2	176 57.9	27 8.9	0 0.0

網掛けは、全体平均%より5ポイント以上多い属性項目。

		合計	Q10.エコファンド、社会的責任投資ファンド			
			よく知っている	すこし知っている	まったく知らない	無回答
単位 上段 件数、下段 %						
全体		1670 100.0	61 3.7	516 30.9	1093 65.4	0 0.0
職種	専門職	195 100.0	8 4.1	68 34.9	119 61.0	0 0.0
	管理職	123 100.0	8 6.5	47 38.2	68 55.3	0 0.0
	役員	29 100.0	2 6.9	12 41.4	15 51.7	0 0.0
	技術職	321 100.0	9 2.8	92 28.7	220 68.5	0 0.0
	事務職	265 100.0	11 4.2	89 33.6	165 62.2	0 0.0
	営業職	149 100.0	7 4.7	43 28.9	99 66.4	0 0.0
	退職者	39 100.0	2 5.1	18 46.2	19 48.7	0 0.0
	無職(主婦)	338 100.0	4 1.2	86 25.4	248 73.4	0 0.0
	無職(その他)	112 100.0	6 5.4	34 30.4	72 64.2	0 0.0
	その他	99 100.0	4 4.0	27 27.3	68 68.7	0 0.0
社会活動への参加	日常生活における環境保全への配慮	1062 100.0	48 4.5	380 35.8	634 59.7	0 0.0
	慈善団体などへの寄付	210 100.0	17 8.1	91 43.3	102 48.6	0 0.0
	ボランティア活動への参加	248 100.0	18 7.3	105 42.3	125 50.4	0 0.0
	コミュニティ活動への参加	172 100.0	15 8.7	74 43.0	83 48.3	0 0.0
	NPO/NGOに所属	34 100.0	7 20.6	14 41.2	13 38.2	0 0.0
	労働組合の活動への参加	102 100.0	6 5.9	36 35.3	60 58.8	0 0.0
	政治活動への参加	25 100.0	3 12.0	7 28.0	15 60.0	0 0.0
	宗教団体の活動への参加	64 100.0	4 6.3	14 21.9	46 71.8	0 0.0
	この中で特にしていることはない	455 100.0	11 2.4	80 17.6	364 80.0	0 0.0
	その他	8 100.0	0 0.0	2 25.0	6 75.0	0 0.0
証券投資の経験年数	経験はない	872 100.0	7 0.8	176 20.2	689 79.0	0 0.0
	1年未満	115 100.0	2 1.7	35 30.4	78 67.9	0 0.0
	1年以上2年未満	112 100.0	4 3.6	42 37.5	66 58.9	0 0.0
	2年以上4年未満	190 100.0	8 4.2	86 45.3	96 50.5	0 0.0
	4年以上6年未満	77 100.0	9 11.7	37 48.0	31 40.3	0 0.0
	6年以上	304 100.0	31 10.2	140 46.0	133 43.8	0 0.0

網掛けは、全体平均%より5ポイント以上多い属性項目。

		合計	Q11.エコファンド等への関心度			
			既に入 している	購入して いないが 関心はあ る	購入して いないし 関心もな い	無回答
単位：上段 件数、下段 %						
全体		577 100.0	7 1.2	437 75.7	125 21.7	8 1.4
職種	専門職	76 100.0	2 2.6	59 77.7	15 19.7	0 0.0
	管理職	55 100.0	1 1.8	45 81.9	8 14.5	1 1.8
	役員	14 100.0	0 0.0	8 57.1	6 42.9	0 0.0
	技術職	101 100.0	0 0.0	78 77.2	19 18.8	4 4.0
	事務職	100 100.0	1 1.0	78 78.0	19 19.0	2 2.0
	営業職	50 100.0	0 0.0	39 78.0	11 22.0	0 0.0
	退職者	20 100.0	1 5.0	17 85.0	2 10.0	0 0.0
	無職(主婦)	90 100.0	1 1.1	60 66.7	29 32.2	0 0.0
	無職(その他)	40 100.0	1 2.5	30 75.0	9 22.5	0 0.0
	その他	31 100.0	0 0.0	23 74.2	7 22.6	1 3.2
	社会活動への参加	日常生活における 環境保全への配慮	428 100.0	5 1.2	345 80.6	74 17.3
慈善団体などへの 寄付		108 100.0	4 3.7	85 78.7	18 16.7	1 0.9
ボランティア活動 への参加		123 100.0	1 0.8	96 78.1	23 18.7	3 2.4
コミュニティ活動 への参加		89 100.0	2 2.2	70 78.7	15 16.9	2 2.2
NPO/NGOに所属		21 100.0	0 0.0	20 95.2	1 4.8	0 0.0
労働組合の活動へ の参加		42 100.0	1 2.4	37 88.1	4 9.5	0 0.0
政治活動への参加		10 100.0	1 10.0	8 80.0	1 10.0	0 0.0
宗教団体の活動へ の参加		18 100.0	0 0.0	14 77.8	4 22.2	0 0.0
この中で特に行っ ていることはない		91 100.0	1 1.1	48 52.7	39 42.9	3 3.3
その他		2 100.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
証券投資の経験年数		経験はない	183 100.0	0 0.0	133 72.7	46 25.1
	1年未満	37 100.0	1 2.7	29 78.4	7 18.9	0 0.0
	1年以上2年未満	46 100.0	2 4.3	36 78.3	7 15.2	1 2.2
	2年以上4年未満	94 100.0	1 1.1	77 81.9	14 14.9	2 2.1
	4年以上6年未満	46 100.0	1 2.2	37 80.4	8 17.4	0 0.0
	6年以上	171 100.0	2 1.2	125 73.1	43 25.1	1 0.6

網掛けは、全体平均%より5ポイント以上多い属性項目。

【米国】

Q4 企業の社会的責任について関心がありますか。

この設問に対して、職種では「専門職」、「管理職」、「退職者」において「関心がある」側の傾向が強い。逆に、「営業職」において「関心がない」側の傾向が強い。社会活動への参加では「コミュニティ活動への参加」、「政治活動への参加」、「宗教団体の活動への参加」において「関心がある」側の傾向が強い。逆に「この中で特に行っていることはない」において「関心がない」側の傾向が強い。証券投資の経験年数と回答の間の傾向を読み取ることはできない。

Q7 あなたは証券投資をするときに企業の社会的責任を考慮に入れて投資判断を行うべきだとお考えですか。

この設問に対して、職種では「退職者」、「無職(主婦)」、「その他」において「考慮に入れるべき」側の傾向が強い。逆に、「事務職」において「考慮に入れなくてよい」側の傾向が強い。社会活動への参加では「日常生活における環境保全への配慮」、「政治活動の参加」、「その他」において「考慮に入れるべき」側の傾向が強い。逆に「この中で特に行っていることはない」において「考慮に入れなくてよい」側の傾向が強い。証券投資の経験年数と回答の間の傾向を読み取ることはできない。

Q10 エコファンド、または社会的責任投資ファンドをご存知ですか。

この設問に対して、職種では「専門職」、「役員」、「退職者」において「知っている」側の傾向が強い。逆に、「無職(主婦)」において「知らない」側の傾向が強い。社会活動への参加では「NPO/NGOに所属」、「労働組合の活動への参加」、「政治活動への参加」において「知っている」側の傾向が強い。逆に「この中で特に行っていることはない」において「知らない」側の傾向が強い。証券投資の経験年数と回答の間の傾向を読み取ることはできない。

Q11 エコファンドや社会的責任投資ファンドの購入にどの程度関心がありますか。

この設問に対して、職種では「専門職」、「管理職」、「役員」、「退職者」において「関心がある」側の傾向が強い。逆に、「技術職」において「関心がない」側の傾向が強い。社会活動への参加では「慈善団体への寄付」、「NPO/NGOに所属」、「労働組合への活動に参加」において「関心がある」側の傾向が強い。逆に「この中で特に行っていることはない」において「関心がない」側の傾向が強い。証券投資の経験年数と回答の間の傾向を読み取ることはできない。

		合計	Q4.企業の社会的責任についての関心					無回答
			とても関 心がある	ある程度 関心があ る	あまり関 心がない	関心が まったく ない	わからな い	
単位 上段 件数、下段 %								
全体		309 100.0	139 45.0	109 35.3	23 7.4	20 6.5	18 5.8	0 0.0
職種	専門職	63 100.0	35 55.6	20 31.7	5 7.9	1 1.6	2 3.2	0 0.0
	管理職	25 100.0	12 48.0	10 40.0	2 8.0	1 4.0	0 0.0	0 0.0
	役員	10 100.0	5 50.0	4 40.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0
	技術職	24 100.0	10 41.6	7 29.2	1 4.2	5 20.8	1 4.2	0 0.0
	事務職	32 100.0	16 49.9	12 37.5	2 6.3	2 6.3	0 0.0	0 0.0
	営業職	21 100.0	6 28.6	6 28.6	3 14.3	2 9.5	4 19.0	0 0.0
	退職者	27 100.0	17 63.0	7 25.9	1 3.7	1 3.7	1 3.7	0 0.0
	無職(主婦)	53 100.0	19 35.8	23 43.5	3 5.7	4 7.5	4 7.5	0 0.0
	無職(その他)	19 100.0	4 21.1	10 52.6	2 10.5	1 5.3	2 10.5	0 0.0
	その他	35 100.0	15 42.9	10 28.6	4 11.4	2 5.7	4 11.4	0 0.0
	社会活動への参加	日常生活における 環境保全への配慮	189 100.0	103 54.5	64 33.9	10 5.3	4 2.1	8 4.2
慈善団体などへの 寄付		176 100.0	98 55.7	59 33.5	10 5.7	3 1.7	6 3.4	0 0.0
ボランティア活動 への参加		128 100.0	71 55.5	38 29.7	9 7.0	3 2.3	7 5.5	0 0.0
コミュニティ活動 への参加		83 100.0	47 56.7	27 32.5	7 8.4	1 1.2	1 1.2	0 0.0
NPO/NGOに所属		17 100.0	11 64.6	2 11.8	1 5.9	2 11.8	1 5.9	0 0.0
労働組合の活動へ の参加		15 100.0	11 73.4	2 13.3	0 0.0	0 0.0	2 13.3	0 0.0
政治活動への参加		56 100.0	38 67.8	15 26.8	0 0.0	2 3.6	1 1.8	0 0.0
宗教団体の活動へ の参加		90 100.0	52 57.9	29 32.2	4 4.4	2 2.2	3 3.3	0 0.0
この中で特に行っ ていることはない		40 100.0	10 25.0	9 22.5	4 10.0	11 27.5	6 15.0	0 0.0
その他		3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
証券投資の 経験年数		経験はない	105 100.0	36 34.3	31 29.5	11 10.5	14 13.3	13 12.4
	1年未満	25 100.0	12 48.0	10 40.0	2 8.0	1 4.0	0 0.0	0 0.0
	1年以上2年未満	31 100.0	9 29.0	14 45.2	4 12.9	3 9.7	1 3.2	0 0.0
	2年以上4年未満	46 100.0	29 63.1	15 32.6	0 0.0	0 0.0	2 4.3	0 0.0
	4年以上6年未満	30 100.0	14 46.7	14 46.7	0 0.0	1 3.3	1 3.3	0 0.0
	6年以上	72 100.0	39 54.2	25 34.7	6 8.3	1 1.4	1 1.4	0 0.0

網掛けは、全体平均%より5ポイント以上多い属性項目。

		合計	Q7.証券投資の際の企業の社会的責任の配慮			
			考慮に入れるべきだと思う	ある程度考慮に入れるべきだ	考慮しなくてよい	無回答
単位：上段 件数 下段 %						
全体		309 100.0	167 54.0	117 37.9	25 8.1	0 0.0
職種	専門職	63 100.0	29 46.1	29 46.0	5 7.9	0 0.0
	管理職	25 100.0	11 44.0	12 48.0	2 8.0	0 0.0
	役員	10 100.0	7 70.0	0 0.0	3 30.0	0 0.0
	技術職	24 100.0	13 54.2	9 37.5	2 8.3	0 0.0
	事務職	32 100.0	13 40.6	17 53.1	2 6.3	0 0.0
	営業職	21 100.0	10 47.6	9 42.9	2 9.5	0 0.0
	退職者	27 100.0	21 77.8	5 18.5	1 3.7	0 0.0
	無職(主婦)	53 100.0	33 62.2	18 34.0	2 3.8	0 0.0
	無職(その他)	19 100.0	10 52.6	6 31.6	3 15.8	0 0.0
	その他	35 100.0	20 57.1	12 34.3	3 8.6	0 0.0
	社会活動への参加	日常生活における環境保全への配慮	189 100.0	121 64.0	64 33.9	4 2.1
慈善団体などへの寄付		176 100.0	107 60.8	62 35.2	7 4.0	0 0.0
ボランティア活動への参加		128 100.0	79 61.7	38 29.7	11 8.6	0 0.0
コミュニティ活動への参加		83 100.0	46 55.4	35 42.2	2 2.4	0 0.0
NPO/NGOに所属		17 100.0	10 58.9	4 23.5	3 17.6	0 0.0
労働組合の活動への参加		15 100.0	10 66.7	3 20.0	2 13.3	0 0.0
政治活動への参加		56 100.0	37 66.1	14 25.0	5 8.9	0 0.0
宗教団体の活動への参加		90 100.0	53 58.9	34 37.8	3 3.3	0 0.0
この中で特に行っていることはない		40 100.0	15 37.5	15 37.5	10 25.0	0 0.0
その他		3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0
証券投資の経験年数		経験はない	105 100.0	57 54.3	32 30.5	16 15.2
	1年未満	25 100.0	13 52.0	12 48.0	0 0.0	0 0.0
	1年以上2年未満	31 100.0	11 35.5	17 54.8	3 9.7	0 0.0
	2年以上4年未満	46 100.0	30 65.2	15 32.6	1 2.2	0 0.0
	4年以上6年未満	30 100.0	13 43.3	15 50.0	2 6.7	0 0.0
	6年以上	72 100.0	43 59.7	26 36.1	3 4.2	0 0.0

網掛けは、全体平均%より5ポイント以上多い属性項目。

		合計	Q10.ESGファンド、社会的責任投資ファンド			
			よく知っている	すこし知っている	まったく知らない	無回答
単位：上段 件数、下段 %						
全体		309 100.0	18 5.8	82 26.5	209 67.7	0 0.0
職種	専門職	63 100.0	10 15.9	21 33.3	32 50.8	0 0.0
	管理職	25 100.0	1 4.0	7 28.0	17 68.0	0 0.0
	役員	10 100.0	1 10.0	4 40.0	5 50.0	0 0.0
	技術職	24 100.0	1 4.2	7 29.2	16 66.6	0 0.0
	事務職	32 100.0	0 0.0	9 28.1	23 71.9	0 0.0
	営業職	21 100.0	1 4.8	5 23.8	15 71.4	0 0.0
	退職者	27 100.0	3 11.1	7 25.9	17 63.0	0 0.0
	無職(主婦)	53 100.0	0 0.0	11 20.8	42 79.2	0 0.0
	無職(その他)	19 100.0	0 0.0	4 21.1	15 78.9	0 0.0
	その他	35 100.0	1 2.9	7 20.0	27 77.1	0 0.0
	社会活動への参加	日常生活における環境保全への配慮	189 100.0	17 9.0	55 29.1	117 61.9
慈善団体などへの寄付		176 100.0	16 9.1	49 27.8	111 63.1	0 0.0
ボランティア活動への参加		128 100.0	12 9.4	35 27.3	81 63.3	0 0.0
コミュニティ活動への参加		83 100.0	12 14.5	22 26.5	49 59.0	0 0.0
NPO/NGOに所属		17 100.0	4 23.5	4 23.5	9 53.0	0 0.0
労働組合の活動への参加		15 100.0	3 20.0	4 26.7	8 53.3	0 0.0
政治活動への参加		56 100.0	9 16.1	17 30.4	30 53.5	0 0.0
宗教団体の活動への参加		90 100.0	9 10.0	25 27.8	56 62.2	0 0.0
この中で特に行っていることはない		40 100.0	0 0.0	5 12.5	35 87.5	0 0.0
その他		3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0
証券投資の経験年数		経験はない	105 100.0	0 0.0	10 9.5	95 90.5
	1年未満	25 100.0	0 0.0	11 44.0	14 56.0	0 0.0
	1年以上2年未満	31 100.0	0 0.0	8 25.8	23 74.2	0 0.0
	2年以上4年未満	46 100.0	6 13.0	16 34.8	24 52.2	0 0.0
	4年以上6年未満	30 100.0	1 3.3	13 43.3	16 53.4	0 0.0
	6年以上	72 100.0	11 15.3	24 33.3	37 51.4	0 0.0

網掛けは、全体平均%より5ポイント以上多い属性項目



		合計	Q11.ETF等への関心度			
			既に入っている	購入していないが関心はある	購入していないし関心もない	無回答
単位:上段 件数、下段 %						
全体		100 100.0	12 12.0	57 57.0	24 24.0	7 7.0
職種	専門職	31 100.0	6 19.4	20 64.5	4 12.9	1 3.2
	管理職	8 100.0	2 25.0	5 62.5	1 12.5	0 0.0
	役員	5 100.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0
	技術職	8 100.0	0 0.0	3 37.5	3 37.5	2 25.0
	事務職	9 100.0	0 0.0	6 66.7	3 33.3	0 0.0
	営業職	6 100.0	0 0.0	3 50.0	2 33.3	1 16.7
	退職者	10 100.0	2 20.0	5 50.0	2 20.0	1 10.0
	無職(主婦)	11 100.0	1 9.1	6 54.5	2 18.2	2 18.2
	無職(その他)	4 100.0	0 0.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0
	その他	8 100.0	0 0.0	5 62.5	3 37.5	0 0.0
	社会活動への参加	日常生活における環境保全への配慮	72 100.0	12 16.7	42 58.3	13 18.1
慈善団体などへの寄付		65 100.0	12 18.5	38 58.4	10 15.4	5 7.7
ボランティア活動への参加		47 100.0	8 17.0	27 57.5	7 14.9	5 10.6
コミュニティ活動への参加		34 100.0	4 11.8	24 70.5	2 5.9	4 11.8
NPO/NGOに所属		8 100.0	3 37.5	4 50.0	0 0.0	1 12.5
労働組合の活動への参加		7 100.0	2 28.6	4 57.1	1 14.3	0 0.0
政治活動への参加		26 100.0	4 15.4	14 53.8	6 23.1	2 7.7
宗教団体の活動への参加		34 100.0	6 17.6	20 58.9	5 14.7	3 8.8
この中で特にしていることはない		5 100.0	0 0.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0
その他		3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0
証券投資の経験年数		経験はない	10 100.0	0 0.0	4 40.0	5 50.0
	1年未満	11 100.0	0 0.0	8 72.7	3 27.3	0 0.0
	1年以上2年未満	8 100.0	0 0.0	6 75.0	2 25.0	0 0.0
	2年以上4年未満	22 100.0	5 22.7	15 68.3	1 4.5	1 4.5
	4年以上6年未満	14 100.0	3 21.4	4 28.6	6 42.9	1 7.1
	6年以上	35 100.0	4 11.4	20 57.2	7 20.0	4 11.4

網掛けは、全体平均%より5ポイント以上多い属性項目

【英国】

Q 4 企業の社会的責任について関心がありますか。

この設問に対して、職種では「専門職」、「役員」、「退職者」において「関心がある」側の傾向が強い。逆に、「無職（主婦）」、「無職（その他）」において「関心がない」側の傾向が強い。社会活動への参加では「コミュニティ活動への参加」、「労働組合の活動への参加」、「政治活動への参加」において「関心がある」側の傾向が強い。逆に「この中で特に行っていることはない」において「関心がない」側の傾向が強い。証券投資の経験年数では、総じて経験年数の長い層に「関心がある」側の傾向が強い。

Q 7 あなたは証券投資をするときに企業の社会的責任を考慮に入れて投資判断を行うべきだとお考えですか。

この設問に対して、職種では「専門職」、「役員」、「退職者」において「考慮に入れるべき」側の傾向が強い。逆に、「営業職」において「考慮に入れなくてよい」側の傾向が強い。社会活動への参加では「日常生活における環境保全の配慮」、「コミュニティ活動への参加」、「政治活動への参加」において「考慮に入れるべき」側の傾向が強い。逆に「この中で特に行っていることはない」において「考慮に入れなくてよい」側の傾向が強い。証券投資の経験年数と回答の間の傾向を読み取ることはできない。

Q 10 エコファンド、または社会的責任投資ファンドをご存知ですか。

この設問に対して、職種では「専門職」、「管理職」、「営業職」において「知っている」側の傾向が強い。逆に、「無職（主婦）」において「知らない」側の傾向が強い。社会活動への参加では「NPO/NGOに所属」、「労働組合の活動への参加」、「政治活動への参加」において「知っている」側の傾向が強い。逆に「この中で特に行っていることはない」において「知らない」側の傾向が強い。証券投資の経験年数では、総じて経験年数の長い層に「知っている」側の傾向が強い。

Q 11 エコファンドや社会的責任投資ファンドの購入にどの程度関心がありますか。

この設問に対して、職種では「専門職」、「役員」、「退職者」において「関心がある」側の傾向が強い。逆に、「無職（主婦）」において「関心がない」側の傾向が強い。社会活動への参加では「コミュニティ活動への参加」、「労働組合の活動への参加」、「政治活動への参加」において「関心がある」側の傾向が強い。逆に「この中で特に行っていることはない」において「関心がない」側の傾向が強い。証券投資の経験年数と回答の間の傾向を読み取ることはできない。

		合計	Q4.企業の社会的責任についての関心					無回答
			とても関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	関心がまったくない	わからない	
単位: 上段 件数、下段 %								
全体		306 100.0	80 26.1	126 41.2	45 14.7	28 9.2	27 8.8	0 0.0
職種	専門職	67 100.0	24 35.8	31 46.3	10 14.9	2 3.0	0 0.0	0 0.0
	管理職	26 100.0	6 23.1	16 61.6	1 3.8	2 7.7	1 3.8	0 0.0
	役員	5 100.0	1 20.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	技術職	20 100.0	6 30.0	4 20.0	4 20.0	2 10.0	4 20.0	0 0.0
	事務職	32 100.0	2 6.3	15 46.8	9 28.1	2 6.3	4 12.5	0 0.0
	営業職	20 100.0	7 35.0	6 30.0	1 5.0	4 20.0	2 10.0	0 0.0
	退職者	30 100.0	13 43.2	11 36.7	2 6.7	2 6.7	2 6.7	0 0.0
	無職(主婦)	30 100.0	3 10.0	12 40.0	5 16.7	7 23.3	3 10.0	0 0.0
	無職(その他)	16 100.0	2 12.5	7 43.7	2 12.5	1 6.3	4 25.0	0 0.0
	その他	60 100.0	16 26.7	20 33.3	11 18.3	6 10.0	7 11.7	0 0.0
社会活動への参加	日常生活における環境保全への配慮	195 100.0	63 32.3	83 42.6	25 12.8	14 7.2	10 5.1	0 0.0
	慈善団体などへの寄付	180 100.0	51 28.3	76 42.3	24 13.3	15 8.3	14 7.8	0 0.0
	ボランティア活動への参加	89 100.0	22 24.7	42 47.2	12 13.5	9 10.1	4 4.5	0 0.0
	コミュニティ活動への参加	89 100.0	32 36.0	40 44.9	8 9.0	5 5.6	4 4.5	0 0.0
	NPO/NGOに所属	7 100.0	1 14.3	5 71.4	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	労働組合の活動への参加	9 100.0	6 66.7	2 22.2	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0
	政治活動への参加	26 100.0	15 57.7	10 38.5	1 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	宗教団体の活動への参加	39 100.0	11 28.2	15 38.5	6 15.4	5 12.8	2 5.1	0 0.0
	この中で特に行っていることはない	24 100.0	3 12.5	9 37.6	2 8.3	5 20.8	5 20.8	0 0.0
	その他	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
証券投資の経験年数	経験はない	124 100.0	23 18.5	35 28.2	26 21.0	16 12.9	24 19.4	0 0.0
	1年未満	20 100.0	4 20.0	12 60.0	1 5.0	2 10.0	1 5.0	0 0.0
	1年以上2年未満	29 100.0	4 13.8	18 62.1	4 13.8	3 10.3	0 0.0	0 0.0
	2年以上4年未満	33 100.0	7 21.2	19 57.6	6 18.2	0 0.0	1 3.0	0 0.0
	4年以上6年未満	33 100.0	16 48.5	14 42.4	1 3.0	2 6.1	0 0.0	0 0.0
	6年以上	67 100.0	26 38.8	28 41.8	7 10.4	5 7.5	1 1.5	0 0.0

網掛けは、全体平均%より5ポイント以上多い属性項目

		合計	Q7.証券投資の際の企業の社会的責任の配慮			
			考慮に入れるべきだと思う	ある程度考慮に入れるべきだ	考慮に入れてくれない	無回答
単位：上段 件数、下段 %						
全体		306 100.0	143 46.7	115 37.6	48 15.7	0 0.0
職種	専門職	67 100.0	34 50.8	26 38.8	7 10.4	0 0.0
	管理職	26 100.0	9 34.6	13 50.0	4 15.4	0 0.0
	役員	5 100.0	4 80.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0
	技術職	20 100.0	8 40.0	9 45.0	3 15.0	0 0.0
	事務職	32 100.0	14 43.8	15 46.8	3 9.4	0 0.0
	営業職	20 100.0	9 45.0	5 25.0	6 30.0	0 0.0
	退職者	30 100.0	16 53.3	11 36.7	3 10.0	0 0.0
	無職(主婦)	30 100.0	11 36.7	14 46.6	5 16.7	0 0.0
	無職(その他)	16 100.0	7 43.7	5 31.3	4 25.0	0 0.0
	その他	60 100.0	31 51.7	17 28.3	12 20.0	0 0.0
	社会活動への参加	日常生活における環境保全への配慮	195 100.0	108 55.4	70 35.9	17 8.7
慈善団体などへの寄付		180 100.0	91 50.5	68 37.8	21 11.7	0 0.0
ボランティア活動への参加		89 100.0	43 48.3	35 39.3	11 12.4	0 0.0
コミュニティ活動への参加		89 100.0	45 50.6	36 40.4	8 9.0	0 0.0
NPO/NGOに所属		7 100.0	1 14.3	4 57.1	2 28.6	0 0.0
労働組合の活動への参加		9 100.0	3 33.3	5 55.6	1 11.1	0 0.0
政治活動への参加		26 100.0	18 69.2	8 30.8	0 0.0	0 0.0
宗教団体の活動への参加		39 100.0	17 43.6	17 43.6	5 12.8	0 0.0
この中で特に行っていることはない		24 100.0	6 25.0	8 33.3	10 41.7	0 0.0
その他		3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0
証券投資の経験年数		経験はない	124 100.0	60 48.4	32 25.8	32 25.8
	1年未満	20 100.0	9 45.0	10 50.0	1 5.0	0 0.0
	1年以上2年未満	29 100.0	10 34.5	16 55.2	3 10.3	0 0.0
	2年以上4年未満	33 100.0	15 45.4	13 39.4	5 15.2	0 0.0
	4年以上6年未満	33 100.0	17 51.5	14 42.4	2 6.1	0 0.0
	6年以上	67 100.0	32 47.7	30 44.8	5 7.5	0 0.0

網掛けは、全体平均%より5ポイント以上多い属性項目

		合計	Q10.ESGファンド、社会的責任投資ファンド			
			よく知っている	すこし知っている	まったく知らない	無回答
単位 上段 件数、下段 %						
全体		306 100.0	9 2.9	106 34.6	191 62.5	0 0.0
職種	専門職	67 100.0	5 7.5	30 44.8	32 47.7	0 0.0
	管理職	26 100.0	0 0.0	13 50.0	13 50.0	0 0.0
	役員	5 100.0	0 0.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0
	技術職	20 100.0	1 5.0	6 30.0	13 65.0	0 0.0
	事務職	32 100.0	0 0.0	9 28.1	23 71.9	0 0.0
	営業職	20 100.0	0 0.0	9 45.0	11 55.0	0 0.0
	退職者	30 100.0	1 3.3	10 33.3	19 63.4	0 0.0
	無職(主婦)	30 100.0	1 3.3	5 16.7	24 80.0	0 0.0
	無職(その他)	16 100.0	0 0.0	4 25.0	12 75.0	0 0.0
	その他	60 100.0	1 1.7	18 30.0	41 68.3	0 0.0
	社会活動への参加	日常生活における環境保全への配慮	195 100.0	7 3.6	68 34.9	120 61.5
慈善団体などへの寄付		180 100.0	8 4.4	62 34.4	110 61.2	0 0.0
ボランティア活動への参加		89 100.0	5 5.6	31 34.8	53 59.6	0 0.0
コミュニティ活動への参加		89 100.0	7 7.9	37 41.6	45 50.5	0 0.0
NPO/NGOに所属		7 100.0	1 14.3	3 42.8	3 42.9	0 0.0
労働組合の活動への参加		9 100.0	2 22.2	4 44.5	3 33.3	0 0.0
政治活動への参加		26 100.0	3 11.5	12 46.2	11 42.3	0 0.0
宗教団体の活動への参加		39 100.0	3 7.7	13 33.3	23 59.0	0 0.0
この中で特に行っていることはない		24 100.0	0 0.0	5 20.8	19 79.2	0 0.0
その他		3 100.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0
証券投資の経験年数		経験はない	124 100.0	0 0.0	19 15.3	105 84.7
	1年未満	20 100.0	0 0.0	7 35.0	13 65.0	0 0.0
	1年以上2年未満	29 100.0	0 0.0	14 48.3	15 51.7	0 0.0
	2年以上4年未満	33 100.0	2 6.1	11 33.3	20 60.6	0 0.0
	4年以上6年未満	33 100.0	4 12.1	14 42.4	15 45.5	0 0.0
	6年以上	67 100.0	3 4.5	41 61.2	23 34.3	0 0.0

網掛けは、全体平均%より5ポイント以上多い属性項目

		合計	Q11.エコファンド等への関心度			
			既に入 している	購入して いないが 関心はあ る	購入して いないし 関心もな い	無回答
単位：上段 件数、下段 %						
全体		115 100.0	7 6.1	70 60.8	34 29.6	4 3.5
職 種	専門職	35 100.0	4 11.4	22 62.8	8 22.9	1 2.9
	管理職	13 100.0	1 7.7	7 53.8	4 30.8	1 7.7
	役員	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
	技術職	7 100.0	0 0.0	4 57.1	2 28.6	1 14.3
	事務職	9 100.0	0 0.0	6 66.7	3 33.3	0 0.0
	営業職	9 100.0	0 0.0	7 77.8	2 22.2	0 0.0
	退職者	11 100.0	2 18.2	6 54.5	3 27.3	0 0.0
	無職(主婦)	6 100.0	0 0.0	1 16.7	5 83.3	0 0.0
	無職(その他)	4 100.0	0 0.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0
	その他	19 100.0	0 0.0	12 63.1	6 31.6	1 5.3
	社 会 活 動 へ の 参 加	日常生活における 環境保全への配慮	75 100.0	5 6.7	51 68.0	15 20.0
慈善団体などへの 寄付		70 100.0	4 5.7	43 61.5	19 27.1	4 5.7
ボランティア活動 への参加		36 100.0	2 5.6	24 66.6	9 25.0	1 2.8
コミュニティ活動 への参加		44 100.0	5 11.4	29 65.9	8 18.2	2 4.5
NPO/NGOに所属		4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0
労働組合の活動へ の参加		6 100.0	3 50.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0
政治活動への参加		15 100.0	1 6.7	11 73.3	2 13.3	1 6.7
宗教団体の活動へ の参加		16 100.0	0 0.0	10 62.4	5 31.3	1 6.3
この中で特に行っ ていることはない		5 100.0	0 0.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0
その他		1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
証 券 投 資 の 経 験 年 数		経験はない	19 100.0	0 0.0	9 47.3	9 47.4
	1年未満	7 100.0	0 0.0	5 71.4	2 28.6	0 0.0
	1年以上2年未満	14 100.0	0 0.0	10 71.4	4 28.6	0 0.0
	2年以上4年未満	13 100.0	0 0.0	7 53.8	5 38.5	1 7.7
	4年以上6年未満	18 100.0	3 16.7	13 72.2	2 11.1	0 0.0
	6年以上	44 100.0	4 9.1	26 59.1	12 27.3	2 4.5

網掛けは、全体平均%より5ポイント以上多い属性項目

### 3.3.4 職種、社会活動への参加、証券投資経験年数による属性分析 仮説検証

今回の質問紙調査の結果を踏まえ、職種、社会活動への参加、証券投資経験年数が社会的責任投資の選好を左右する属性であるという仮説を検証するため、図表 3.2 を作成した。各々のセルには国別に「表側の属性の違いが表頭の行動の違いと関連性を有する」傾向がある属性項目を示している。ここで「+」の関連性とは「当該属性項目は、ポジティブな関連性を有している」、「-」の関連性とは「当該属性項目は、ネガティブな関連性を有している」ことを示している。

図表 3.2 職種、社会活動への参加、証券投資経験年数による属性分析

	関連性	企業の社会的責任についての関心	証券投資の際の企業の社会的責任の配慮	エコファンド、社会的責任投資ファンドの認知	エコファンド等への関心度	
職種	日本	+	管理職	管理職	管理職	専門職
			役員	退職者	役員	管理職
			退職者	その他	退職者	退職者
		-	無職(主婦)	無職(主婦)	無職(主婦)	役員
			その他			
	米国	+	専門職	退職者	専門職	専門職
			管理職	無職(主婦)	役員	管理職
			退職者	その他	退職者	役員
		-	営業職	事務職	無職(主婦)	技術職
英国	+	専門職	専門職	専門職	専門職	
		役員	役員	管理職	役員	
		退職者	退職者	営業	退職者	
	-	無職(主婦)	営業職	無職(主婦)	無職(主婦)	
		無職(その他)				
社会活動への参加	日本	+	慈善団体などへの寄付	ボランティア活動	慈善団体などへの寄付	NPO/NGOに所属
			ボランティア活動	NPO/NGOに所属	コミュニティ活動への参加	労働組合への活動に参加
			NPO/NGOに所属	その他	NPO/NGOに所属	政治活動への参加
		-	この中で特に行っていることはない	この中で特に行っていることはない	この中で特に行っていることはない	この中で特に行っていることはない
	米国	+	コミュニティ活動への参加	環境保全への配慮	NPO/NGOに所属	慈善団体への寄付
			政治活動への参加	政治活動への参加	労働組合の活動への参加	NPO/NGOに所属
			宗教団体の活動への参加	その他	政治活動への参加	労働組合への活動に参加
		-	この中で特に行っていることはない	この中で特に行っていることはない	この中で特に行っていることはない	この中で特に行っていることはない
英国	+	コミュニティ活動への参加	環境保全の配慮	NPO/NGOに所属	コミュニティ活動への参加	
		労働組合の活動への参加	コミュニティ活動への参加	労働組合の活動への参加	労働組合の活動への参加	
		政治活動への参加	政治活動への参加	政治活動への参加	政治活動への参加	
	-	この中で特に行っていることはない	この中で特に行っていることはない	この中で特に行っていることはない	この中で特に行っていることはない	
証券投資年数	日本	+	経験年数の長い層		経験年数の長い層	
	米国	+				
	英国	+	経験年数の長い層		経験年数の長い層	

この表で、「属性の違いが行動の違いと関連性を有する」と考えられる結果になった属性項目と行動との組み合わせについて、以下に列挙する。

- 1) 職種と「企業の社会的責任についての関心」との間では、総じて「専門職」、「管理職」、「役員」、「退職者」で「関心がある」側が強くなっている傾向が3か国共通で認められる。
- 2) 社会活動への参加と「企業の社会的責任についての関心」との間では、「この中で特に行っていることはない」とする層で「関心がない」側が強くなっている傾向が3か国共通で認められる。
- 3) 証券投資経験年数と「企業の社会的責任についての関心」との間では、日英で総じて経験年数の長い層で「関心がある」側が強くなっている傾向があるが、このことは米国にはあてはまらない。
- 4) 職種と「証券投資の際の配慮」との間では、「退職者」で「考慮に入れるべき」側が強くなっている傾向が3か国共通で認められる。
- 5) 社会活動への参加と「証券投資の際の配慮」との間では、「この中で特に行っていることはない」とする層で「考慮に入れなくてよい」側が強くなっている傾向が3か国共通で認められる。
- 6) 証券投資経験年数と「証券投資の際の配慮」との間では、特定の傾向は読み取れない。
- 7) 職種と「エコファンド、社会的責任投資ファンドの認知」との間では、「専門職」で「知っている」側が強くなっている傾向が3か国共通で認められる。
- 8) 社会活動への参加と「エコファンド、社会的責任投資ファンドの認知」との間では、「この中で特に行っていることはない」とする層で「考慮に入れなくてよい」側が強くなっている傾向が3か国共通で認められる。
- 9) 証券投資経験年数と「エコファンド、社会的責任投資ファンドの認知」との間では、日英で総じて経験年数の長い層で「知っている」側が強くなっている傾向があるが、このことは米国にはあてはまらない。
- 10) 職種と「エコファンド等への関心」との間では、「専門職」、「退職者」で「知っている」側が強くなっている傾向が3か国共通で認められる。
- 11) 社会活動への参加と「エコファンド等への関心」との間では、「この中で特に行っていることはない」とする層で「考慮に入れなくてよい」側が強くなっている傾向が3か国共通で認められる。
- 12) 証券投資経験年数と「エコファンド等への関心」との間では、特定の傾向は読み取れない。



以上のことから、今回の質問紙調査では、職種及び日常の行動と配慮が社会的責任投資の選好を左右する属性であるという仮説については、「専門職、退職者などの職種は社会的責任投資の選好を左右する属性要因になっている」、「社会活動への参加は社会的責任投資の選好を左右する属性要因になっている」という仮説が支持されるという結果となった。

なお、このことは「英国では職種が行動規定要因になるという分析が複数なされている」という文献調査結果とも一致する結果となっている。

一方、証券投資経験年数が社会的責任投資の選好を左右する属性であるという仮説は支持されていない。